

地方史情報 119

2014年5月

信濃真田氏

丸島 和 洋

本書には、信濃真田氏に関する主要な論文、閲覧が困難な論文十九本を収めた。あわせて、これまでの研究を総括するとともに、編者の現在の知見をまとめた「総論 信濃真田氏の系譜と政治的動向」を付し、今後の研究の進展を図ろうとするものである。

真田氏は、おそらく武田氏に従属した国衆のなかで、もっとも著名な一族であるだろう。特に上田城において、徳川軍を二度にわたって撃退した真田昌幸、大坂の陣で奮戦して討死した真田信繁（一般にいう幸村）の活躍は広く知られている。

一般的な傾向を述べれば、武田氏における国衆研究は、穴山武田氏・小山田氏を素材として論じられることが多い。しかしいずれも甲斐本国における国衆であり、先方衆（武田氏における外様国衆の呼称）ではない。その点、真田氏は「信州先方衆」筆頭であるばかりか、近世に大名として存続したために、武田氏滅亡後まで含めて史料が豊富である。したがって、真田氏は武田領国における先方衆研究において、大きな位置を占めることとなった。真田氏を研究することで、本国内国衆である穴山・小山田両氏との比較検討が可能となったのである。

そのため、真田氏を対象に執筆された論文は非常に多い。そのなかでどの論文を収録対象とすべきか、編者としては相当頭を悩ませた。しかし最終的に、その研究史の厚みを考慮して、真田氏については多少分量が増えても基本的な論文は収録することとした。このため、本書においては戦前に執筆された論文から、近年発表されたものまで、幅広い論文を収録することができた。（中略）

なお真田氏については、本書に続く形で、真田信繁を含む家臣団、および家臣の知行と密接に関わる検地について論じた研究を収めた『真田氏一門と家臣』を刊行する。本書と兄弟関係にある本であり、あわせてご一読いただければ幸いである。

本書の刊行が、真田氏、さらには中近世移行期研究の進展に少しでも寄与すれば、これ以上の喜びはない。

（丸島和洋編『論集 戦国大名と国衆13 信濃真田氏』2014.3、小社刊「はじめに」より）

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0018札幌市北区北十八条西1丁目1-1 北日本文化研究所内 年5000円

◇47 2013.8 B5 8p

伊能(間宮)・今井・松浦の三図に

よる地名比較 打田 元輝

アイヌ語地名研究会・行事参観報

告 北海道の古地図展—伊能大

図と蝦夷地古地図の変遷 戸部 千春

『山の履歴簿』編集うらばなし 渡辺 隆

◆標茶町郷土館報告

〒088-2261北海道川上郡標茶町塘路1-12

Tel015-487-2332 1985年創刊

◇25 2013.8 A4 111p

国有林地に「標茶集治監」を一刑

務施設の民間委託制度を活用 横平 弘

海外資本による森林購入8割減(20

12年北海道内)—標茶郷土館報

告第23号の関連報告 横平 弘

公文書から見た大井上一族と国有

原野 小林 實

北海道標茶町塘路湖におけるペカ

ンベ採取 坪岡 始

擦文文化期およびドビニタイ文化

期における塘路湖周辺の自然環

境 小荷田行男

北海道標茶町釧路川河畔に出現し

たキク科の一種について—北海

道初記録か 高嶋八千代／照井滋晴

北海道フラワーソン2012結果報告

辻ねむ／他

タンチョウ観察報告書 中本 民三

北海道東部の双翅目

—ハナアブ科(3) 飯島一雄／川原進

黒ネコ(風太)の動物捕獲記録 飯島 一雄

コギコブガの新産地 飯島 一雄

北海道東部の鱗翅目

—ツツミノガ科 飯島 一雄

北海道東部の双翅目追加資料(2)

ミバエ科 飯島 一雄

北海道東部の鞘翅目—コガシラミ

ズムシ科、ムクゲキノコムシ科、

ツヤシデムシ科、タマキノコム

シ科、シデムシ科、マルハナノ

ミダムシ科、コブスジコガネ科、

センチコガネ科、コガネムシ科

飯島 一雄

北海道東部の鞘翅目追加資料

(ハネカクシ科) 飯島 一雄

北海道東部の鞘翅目追加資料

(カミキリムシ科) 飯島 一雄

北海道東部の鞘翅目追加資料

(ガムシ科) 飯島 一雄

ダルマガムシ科の訂正 飯島 一雄

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11

Tel011-761-8014 1985年創刊 年2000円

www2.ocn.ne.jp/~history/

◇54 2013.10 B5 80p 1000円

巻頭言 新しい世界に触れてⅡ 後藤 良二

子思孫尊 和田兵村の給与地守り

抜く 16軒の牧場経営者 中神 哲二

新・屯田兵物語(2) 篠路屯田兵

村、伊藤小弥太家の系譜につい

て—旧福井士族の屯田移住に関

する一考察 小森 重紀

屯田兵村設置の拡大と囚人の役割

武石 詔吾

屯田兵のデザイン考 秩父別兵村

区劃図 『秩父別町史』(昭和39

年刊)より

屯田兵公有財産をめぐる(12)

最終回 多数ある最終処分不明

の兵村—まとめとして 河野 民雄

屯田兵前史 津軽藩士殉難の歴史

と蝦夷地警備(後) 中神 哲二

一節抜粋 白石林武記『北海道集

治監勤務日記』、上杉朋史著『父

祖たちの風景』

古地図の散歩道 明治15年作成

「偕楽園図」 明治15(1882)年・

作者不詳

「可能性の大地」を凝縮 梶田 博昭

表紙から 札幌繁昌記 明治24年

刊 編者・木村昇太郎 発行人

・前野長発

“北海道の副王”堀基の素顔に迫

る—創成期の開拓使・屯田兵・

北炭で手腕を発揮 北国 諒星

屯田兵のルーツ情報 美唄屯田兵

が発明した「稲田補虫器」

東西南北 「トップバッターの試

練」講演／和田屯田記念館を一

般公開／兵屋跡菜園で住民が収

穫祭／大隊起源の大綱引きで賑

わう／各地で兵村開拓の記念行

事／射撃場跡地に住民が看板設

置

図説 北海道屯田兵制度(4) 新墾

地と累積面積の推移／明治33年

時点での兵村別の開墾の進捗状

況

「屯田兵ウィキ」編纂事業がスタ

ート 共同執筆でネット上に大

百科事典 後藤 良二

調査レポート 琴似兵屋「八畳間

のナゾ」解明へ 梶田 博昭

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目

かでの2・7ビル9階 Tel011-231-4111

www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/

◇339 2013.9 B4 4p

「北海道文化財保護強化月間」見

て感じ 心にきざむ 文化財

10/8~11/7「北海道文化財強調

月間」始まる

百周年を迎える北海道家庭学校 佐藤 京子

世界遺産登録への動き

「富士山・三保松原」の文化遺産

登録に思う 舟山 廣治

地域の財(たから)を活用する博物

館 廣瀬 隆人

室蘭地域の文化財概況 松田 宏介

「文化財講演交流会(7月22日)」抄

録 赤れんが庁舎と平井晴二郎

駒木 定正

江別市美原歴史館(美原農機具生

活用具歴史館) 山田 大隆

八重の桜の周辺—当協会の事業を

通して

読者の声

十勝探訪(道東を巡る) 山田 雅也

北海道考古学会創設五十周年記

念講演会のお知らせ 野村 崇

日本遺跡学会 函館大会の開催

のお知らせ／文化財講演会開

催のご案内／他団体等寄贈の

刊行物等／新刊紹介 木村裕
俊訳『現代語訳』新羅之記録』

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館
〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1991年創刊 hoppohm.org

◇90 2013.9 A4 6p

表紙 HA182 女性用ヘッドバンド イヌイト(エスキモー)デンマーク領グリーンランド
第28回特別展 極北グリーンランド 氷海のハンター、エスキモー 2013.7.13-10.14 山田 祥子
講演会 グリーンランドがたどった4500年の歴史と「今」 2013.7.13 講師：スチュアートヘンリ(本多俊和)氏 山田 祥子
講座 自治と気候変動一極北の島グリーンランドの現在 2013.7.28 講師：高橋美野梨氏 中田 篤

ロビー展 オホーツクシリーズ2 北海道写真紀行① オホーツク編一写真館が残した、数知れぬ北海道を求めて 2013.6.8-6.23 笹倉いる美
ロビー展 オホーツクシリーズ3 ウイルタ刺繍「フレップ会」作品展 2013.6.8-6.23 笹倉いる美
第28回特別展 北方民族文化シンポジウム 網走 環境変化と先住民の生業文化一家畜飼育・牧畜における適応／移動展 カナダ・極北 イヌイトの壁掛け展

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会

〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
1970年創刊

◇256 2013.9 A4 12p

民俗芸能を支える道具
神楽舞台の印「締め縄・注連縄」
平安貴族の歌遊び
「曲水の宴」に魅了されて 箱崎 安弘
世界遺産「平泉」の追加登録の向けた取組 菊池 修一
安倍氏の歴史を伝える史跡・鳥海柵跡 浅利 英克
追跡・文化財を行政にどう生かすか 高田 和徳
伝承されてきた「厨川柵」 千田 和文
平泉関連遺跡の活用と課題 宮本 升平
岩手大学平泉文化研究センター設立一周年を迎えて 藪 敏裕
文化財を守り伝える心 佐々木孝孝
天地に祈る再生
「塩の道・野田街道」雑感 沼田 博子
続平泉志(20) 毛越寺の蘇民祭／平泉の保存整備計画／平泉キャンペーン 及川 和哉

原敬の足跡を語る 7月の郷土史学習会／アテルイの最期を語る
8月の郷土史学習会／9月以降の郷土史学習会

◆市史せんだい 仙台市博物館

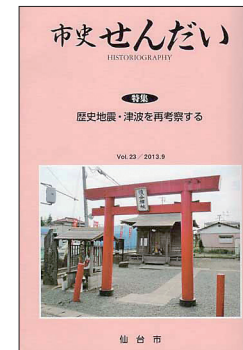
〒980-0862仙台市青葉区川内26
TEL022-225-3074 1992年創刊
www.city.sendai.jp/Kyouiku/Museum/

◇23 2013.9 A5 132p 500円

表紙写真解説
浪分神社(若林区霞目) 松岡 祐也
特集
歴史地震・津波を再考察する
貞観十一年陸奥国震災記事と自然災害痕跡研究 斎野 裕彦
慶長地震の評価をめぐって 菅野 正道

八幡荘と治承・寿永内乱 三好 俊文
研究ノート 和田織部為泰と幕末
維新期の蒲生 栗原伸一郎
史料紹介

仙台城等量数調一『仙台市史
特別編7 城館』『第三部 城
館関係文献史料』補遺(1)
羽下徳彦／倉橋真紀
伊達政宗文書・補遺(7)



* 斎野裕彦「貞観十一年陸奥国震災記事と自然災害痕跡研究」によれば、1987年の第四紀学会シンポジウム「陸の古墳境復元」の成果の中から「地震考古学」や「火山考古学」などの提唱がなされていたとのことである。その後も、「文献史料や伝承などから地震や津波への警鐘もならされていた」にも拘わらず、防災あるいは減災には生かされてこなかった。それでも、今次の大震災によって政府機関などにおいても、そのことの認識がなされつつあるのは、次につながるものと思う。

斎藤は主な自然災害痕跡と研究の枠組みを示し、貞観震災を記した『日本三代実録』と照らし合わせて研究の現状を確認し考古学の貢献について考察。『日本三代実録』には震災被害を過大視したところがあり、慎重に取り扱う必要があること、並びに考古学的な検証や痕跡研究を通じた議論、再検討をすべき

ことを主張。菅野正道「慶長地震の評価をめぐって」は、余り取り上げられることの少ない慶長地震に着目し、東日本大震災との対比で語ったもので、何でも震災に結び付ける「震災史観」が広まりつつあるが、歴史資料や当時の社会状況を十分に研究した上で冷静に議論を深めていくべきと指摘。斎野は東日本大震災後の経験から、防災・減災意識を高めるには、「地震や津波、噴火・降灰による被害の現地調査と地球科学として過去の自然災害の痕跡調査を他分野連携によって『総合化』を進め、その成果をもとに災害の歴史を共有する地域社会を作る様々な活動を継続的に行うことが大切であると実感している。」と述べる。「総合化」ということに特に共感する。

◆東北民俗 東北民俗の会

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 宗教学研究室
FAX022-795-6022 年4000円 1966年創刊
tohokuminzoku.com

◇47 2013.6 A5 108p 1000円

インドとタイで暮らす
一父系の村と母系の村 杉山 晃一
「奥州仙臺七福神」の成立と展開
一近代編 黄 緑萍
ケガレ論再考一竹駒神社にみる祓
い清め アリマンシヤル
新川の「長名水」
一爆ぜなかった擬「流行神」 小田島建己
住宅地における小規模どんと祭の
特徴と機能一宮城県仙台市の事例から 高橋 嘉代
飛鳥の「山帳」における書承の実態 川島 秀一
飛鳥法木村落におけるタコツキの変遷一近代編 新垣 夢乃

岩手の猫に関する石碑と石像 石黒伸一朗
「巫女」による教会の設立
―秋田県湯沢市を事例に 高棹 健太
雪地名 稲 雄次
「きのこ」の滑稽な(ヲコナ)物語
―今昔物語集 第二十八 本朝
付世俗より 根本 敬子
芸能を支えるしくみ―青森県三戸
郡新郷村金ヶ沢鶴舞の事例から 松江 夏愛

◆ナジェージダ(希望)
石巻若宮丸漂流民の会
〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
大島幹雄方 TEL045-773-4643
homepage2.nifty.com/deracine/
◇30 2013.8 A4 36p
2012年度石巻若宮丸漂流民の会総
会&講演会「シベリアと漂流
民」
高倉浩樹先生講演会を聞いて 本間 英一
江戸時代の漂流民によるシベリ
ア民族学 高倉 浩樹
津太夫は語り始める 第二回 春名 徹
アリュेशन列島 エイダック
島紀行(下) 河内 牧栄
「你好！我是日語老師」
―海を渡った日本語教師 橋本 俊一
アストラハン通信(2) 柴田 明子
漂流記に見る位置情報 佐藤三寿夫
青森再訪―文化露寇と北方警備 高橋 寿之
クルーゼンシュテルンの子孫とた
どる歴史紀行 ライプチヒ編 滝川 祐子
西脇千瀬『幻の野蒜築港―明治初
頭、東北開発の夢』 松川 清子
ブラジルに「若宮丸記念碑建立」の
動き ブラジルの新聞記事から
震災土蔵の現況 その2 本間 英一

告知版 地域情報誌「りらく」で
若宮丸がとりあげられました／
函館ツアーのご案内
会報編集つれづれ 大野 康世

◆秋田歴研協会誌
秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出
版内 TEL018-864-3322 1996年創刊
akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html
◇53 2013.9 B5 22p
特集 春の歴史フォーラム
近世・近代の雄物川の治水
近世における雄物川の治水
―新屋村を中心として 菅原 忠
雄物川放水路事業が周辺の市町
村に何をもたらしたか―新屋
町を中心として 大島 正美
フォーラムを終えて 佐々木久吾
用語解説 下屋敷 半田 和彦
歴史情報 新刊紹介
田口勝一郎著『秋田地域史研究
小論集』 編集部
五十嵐典彦著『あきたの町並み
と町家』 秋田文化出版編集部

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会
〒011-0909秋田市寺内兎桜1-5-55
古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
1981年創刊
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
◇80 2013.8 B5 16p
平成25年度総会開催
紀行『すみかの山』と菅江真澄の
魅力
足跡探訪会の報告―真澄が記録し
た五城目の神社・史跡と朝市を
訪ねて

第29回国民文化祭・あきた2014応
援事業 菅江真澄とナマハゲ
講演とフォーラムの集い イン
東京 天野 莊平
真澄の一枚(12) 花無山の西行上
人古跡 『粉本稿』より(大館市
立中央図書館提供) 菊地 利雄
刊行物の紹介 『200年前の醍醐』
―「雪の出羽路」で醍醐を読む
発行：醍醐を考える会／『天明
の密偵』―小説菅江真澄 中津
文彦
真澄短信
平成25年度学習会のお知らせ／新
入会員の報告／講演会の案内／
秋田県立博物館の案内／菅江真
澄の足跡案内

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5299
◇196 2013.8 B5 10p
宮内熊野大社おぼえ書(10) 須崎 寛二
古い戸籍簿によせて 安部 幸憲
「煤男」とは 須崎 寛二
◇197 2013.10 B5 10p
江戸時代、南陽の農業用水の問題 須崎 寛二
明治兵制と貨幣制度の改革
―第219回学習会から 松田 敏雄
岩倉神社は雨乞いにも靈驗あらた
か 須崎 寛二

◆まんだら 東北文化友の会会報
東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-
2168 年10000円 1999年創刊
gs.tuad.ac.jp/tobunken/

◇53 2013.8 B5 24p
対談 僕らのリアルを求めて―
『東北学』を語る 中山ダイスケ／田口洋美
特集 内藤正敏・入間田宣夫両先
生のご退職に寄せて
最終講義
出羽三山の宇宙―羽黒山の開
山伝承と景観のコスモロジ
― 内藤 正敏
最上川の文化的景観―21世紀
の地域づくりのために 入間田宣夫
メッセージ
芸術は戦争だ 内藤 正敏
ありがとうございました 入間田宣夫
ご業績まとめ
フィールドワークの現場から
わらび野焼き(2013年5月11日)
参加学生の声 相澤 彩夏
イベント報告&案内 第11回「薪
能」開催／関野吉晴氏来学／『東
北学』第二号刊行！

関 東

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊
◇88 2013.8 A4 4p
《特集 歴史のなかの女性》
歴史のなかの女性 平野 哲也
栃木県歴史文化研究会第23回総
会・大会のご案内 大会テーマ
「歴史のなかの女性」
中世下野の武家女性をめぐって 松本 一夫
赤子養育仕法と領主・村・女性 泉 正人
犬供養と女人信仰
―茂木町の事例から 磯 寿人
新刊紹介 「那須を綴る」事業委

員会編『ブックレット 那須をとらえる2』 木村 友美

◆群馬地名だより 群馬地名研究会
〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8
小池照一方 TEL027-251-7660 1989年創刊
◇84 2013.10 B5 8p
日光例幣使道 その2(太田宿) 茂木 晃

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
www16.plala.or.jp/kuzira226/
◇231 2013.9 A5 56p
《特集 群馬の地名(3)》
群馬の地名 群馬県地名研究会
中 毛
手川／吹屋 中村 倫司
昭和にできた地名 大字赤城山
小池 照一
宮／道城／千代開 福田 紀雄
赤堀花菖蒲園地名の謎「女堀」 角田賀津三
下川町と油傳堀 井野 修二
殖 蓮 星野 正明
西 毛
タワの地名、そして、峠の語源 須田 茂
天神から天神原へ 須藤 雅美
北 毛
高山村のウバビトコ・姥懐 赤松よし子
柳町／土塔原／尾瀬 中島 靖浩
池ノ峠と、洪峠(池ノ塔) 須田 茂
赤 芝 阿佐美良雄
東 毛
山腰峠と山ノ越 須田 茂
天良／由良 茂木 晃
安良岡町 澤口 宏
山崎一『群馬県城館調査の手引き』

(1) 茂木渉・翻刻／飯森康広・割付
わが町の文化財散歩(3) 前橋市
山王町の筆子塚と鶴光路町の筆
塚 岡田 昭二
高山彦九郎日記による歴史散歩
(38)『江戸日記』(4) 正田 喜久
思い出の歴史散歩
一赤城南面史跡を訪ねて 細井 寿男
紹介『一倉又兵衛漫遊記 下巻』 事務局
れきさんサロン
群馬歴史散歩の会 創立40周年
記念事業を終えて 角田尚士／山崎正
渡邊隆さんとの出会いから 山崎 正
支部だより
歴史散歩の報告(事務局企画) 事務局

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
板橋春夫方 1979年創刊
◇135 2013.9 B5 4p
御諸別王の子孫について 関口 功一
三河万歳の二つの墓について 岡田 昭二
第32回講演会の記録 高橋一樹氏
「鎌倉期東国の交通体系における上野国」 (須藤)

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方
TEL049-281-4983 年4000円 1929年創刊
◇315 (60-3) 2013.10 A5 48p
古代横見郡と式内社 森田 悌
「長享番付」の検証(1)
一筆者の素性 千嶋 壽
亀田鵬斎とそれに連なる人々の碑
・額 石井 昇
キューポラが消えた(下)一産業構
造変化と川口の戦後史 大熊 晋一

武蔵国熊野里修験笹井観音堂(2) 高橋 一
表紙写真解説 秩父市下吉田矢畑
路傍 中世石佛残像
口絵写真解説 小代氏置文(写・
部分／熊本県立図書館)

◆日本の石仏
日本石仏協会(発売：青娥書房)
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊
www3.ocn.ne.jp/~bosatu/sekibutu/sekibutu1.html
◇147 2013.9 A5 80p 2100円
表紙写真 一針葉師笠石仏 黄瀬 三朗
口絵 特集 廻国塔一祈りの足跡
／誌上写真展 '13日本石仏境
界写真展より／世界遺産登録成
る 霊峰富士山
巻頭随想 “在る” ことの有難さ、
“守る” ことの難しさ 坂口 和子
《特集 廻国塔一祈りの足跡》
石造物からみる近世の六十六部 小嶋 博巳
鈴木金兵衛とその足跡 嘉津山 清
六十六部と石のころ 市村 幸夫
コラム
三国峠(新潟・群馬)の廻国塔 田中 英雄
廻国塔にみる信仰形態の変遷 石田 年子
群馬県北部における「六十六部供
養塔」 角田 尚士
あ・ら・か・る・と一私の石仏案内
熊野古道「野中の清水」の双体
水神 和歌山県中辺路町野中
水野 英世
徳本上人像？
長野県辰野町今村 三代川千恵子
誌上講座
石仏入門(3) 観音菩薩 門間 勇
名号塔の知識(15) 妙哲尼 岡村 庄造
「石」を知る(37) 小松 光衛

石仏写真と私(37) 石仏の描写
にこだわって… 大橋豊嗣
ん 杉本 康希
会員の広場
お白石持行事 中野 高通
木花咲耶姫命と子育不動明王 井戸 寛
丹波佐吉の青面金剛像 亀山 幸治
閻魔・十王像と檀拏幢 初田 瑞宏
青梅市内の役行者石像紹介 石川 博司
利尻島・礼文島の馬頭観音 高久 賢
盗難にあった三本足の双体道祖
神 町田 茂
はがき通信 岡村知彦／井戸寛
日本石仏協会主催・第98回石仏見
学会報告 西浅草寺町の石仏巡
り 初田 瑞宏
石仏交流
第35回石仏公開講座を終えて
前川勲／中森勝之／野口進

◆我孫子市史研究センター会報
〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
岡本方 TEL04-7149-6404
www.geocities.jp/abikosisiken/
◇138 2013.8 A4 8p
バス史跡見学会のご案内 歴史探
訪 小江戸栃木への誘い 10月
17日(木) 歴史探訪部会
『新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪
ねる』余話(8) 思い付くままに
土井 玲子
『新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪
ねる』余話(9) 新四国相馬霊場
札所の神社 金成 典知
『新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪
ねる』出版記念 歴史探訪部会
主催 相馬霊場の札所参り そ
の2 布佐地区 9月4日(水)

安永4年版の光音著『(新四国相馬)
 霊場石土写記 全』Ⅱ 近江 礼子
 「八坂神社祭礼の由来」書とお神輿
 渡御 松本 庸夫
 歴史部会7月の活動と9月の予定 茂木 勝己
 ◇139 2013.9 A4 8p
 合同部会の新事業 「我孫子市の
 社寺を訪ねる」(仮題)の現地調
 査と報告方式について 中澤 雅夫
 相馬霊場札所参り(その2)報告 田中 由紀
 歴史探訪部会主催 マイクロバス
 利用 大山詣&日向薬師探訪
 新刊紹介 『地名は警告する一日
 本の災害と地名一』谷川健一編
 当市史研究センター 柴田弘武
 会長が千葉県を担当執筆!! 関口 一郎
 合同部会9月の活動 中澤 雅夫
 ◇140 2013.10 A4 18p
 史跡バス見学会 小江戸栃木への
 旅を終えて(担当委員一同)／栃
 木史跡見学感想記／栃木行(短
 歌)(三谷和夫)
 吉田芳夫さんを偲ぶ 荒井 茂男
 吉田芳夫さんの市史研夏の旅行ス
 ナップ集(毎年吉田さんが旅行
 の元締めだった…)
 歴史探訪部会・座学 「我孫子周
 辺の大山信仰」を受講して 土井 玲子
 歴史探訪部会研修「野田市周辺を
 めぐる」(担当 田中由紀・茂
 木勝己)
 布施弁天御開帳参観記 中澤 雅夫
 我孫子市の社寺を訪ねて1―根戸
 東陽寺、弁天社、妙蓮寺、八幡
 社、大師堂 近江 礼子
 「井上家文書研究部会」10月度 長谷川 一
 合同部会10月の活動 中澤 雅夫
 歴史部会9月の活動と11月の予定 茂木 勝己

◆房総石造文化財研究会会報
 〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
 石田年子方 TEL04-7196-3375
 年3000円 1980年創刊
 ◇119 2013.10 B5 10p
 一部変更のお知らせ 千葉市の姥
 神塔を巡り／石仏見学会のお知
 らせ 市原・袖ヶ浦・君津をめ
 ぐる／石仏勉強会のお知らせ
 東総の家型墓について
 本更津の石造物(1) 地名の表記 稲木 章宏
 会員寄稿
 文字が無い石造文化財の石材産
 地等 渡邊 昌之
 辨榮上人と線刻仏画碑 溝渕 碩治
 ◆房総の石仏 房総石造文化財研究会
 〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
 石田年子方 TEL04-7196-3375
 年3000円 1982年創刊
 ◇23 2013.8 B5 65p
 房総の青麻神社信仰と常陸坊海尊
 長寿伝説 佐藤 優
 下総板碑の蓮台について 小西 則子
 富津市像法寺の石塔群について 小高 春雄
 香取地方の石仏事情
 一東庄町の石仏調査を中心に 石田 年子
 松戸市の石仏 入谷 雄二
 ◆足立史談
 足立区教育委員会足立史談編集局
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
 ◇546 2013.8 A4 4p
 整理中の館蔵浮世絵から 小林 優
 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想
 い出(9) 椿分教所への通学路 小川誠一郎
 町が伝える文化遺産

「大千住」と巢兆作品 多田 文夫
 ◇547 2013.9 A4 4p
 整理中の館蔵浮世絵から・続 小林 優
 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想
 い出(10) 戦時下の鹿浜の子供
 たちの遊び(1) 小川誠一郎
 今季特別展・出展品紹介
 仲町氷川神社蔵・四神鈐 鈴木 志乃
 ◇548 2013.10 A4 4p
 平成25年特別展 大千住展一町の
 繁栄と祝祭 11月6日から平成
 26年1月26日
 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想
 い出(11) 戦時下の鹿浜の子供
 たちの遊び(2) 小川誠一郎
 わっしょい!大千住! 盛り上げ
 イベント in 千住 巡回パネル
 展 千住歴史大全／大千住!
 盛り上げイベント in 千住 「千
 住の巢兆」展 11月1日(金)か
 ら5日(火)まで
 ◆足立史談会だより
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
 ◇305 2013.8 A4 8p
 平成25年夏 区民研究発表会／8
 月・9月の史談会予定
 合衆国首府「ワシントンの桜」(11)
 「東京都建設局公園緑地部」編
 著 昭和26年刊 東京市、ワシ
 ントンにむけて桜を贈る(2)
 足立区の文化財 有形文化財(古
 文書) 甲田家文書 1点「(日
 光道中千住宿村差出明細書)」
 ／有形文化財(歴史資料) 本莊
 家(桂昌院)の墓 1基、金子五
 兵衛の墓 1基、浅田長右衛門

の墓 1基、唐松家文書 1点
 学童疎開を伝える 加藤新助／唐
 沢邦子／赤田直繁／高塩文江／
 茂呂環／大和田静江
 私の昭和20年8月15日前後 相川謹之助
 ◇306 2013.9 A4 8p
 いよいよ刊行! 待望の中世期足立
 の歴史を集大成した力作 戦国
 期東武蔵の戦乱と信仰
 合衆国首府「ワシントンの桜」(12)
 「東京都公園協会 昭和26年刊」
 東京市、ワシントンにむけて桜
 を贈る(2)
 足立区の文化財 平成2年「足立
 区の文化財」による 有形文化
 財(歴史資料) 渡辺小右衛門の
 墓 1基、伊藤嘉兵衛の墓 1
 基、佐野新蔵胤信の墓 1基、
 伝・河合平内の墓 1基
 区民研究発表会 青木昇氏 小台
 出身の津山藩医宇田川玄随／伊
 藤博氏 小名木川リバーウォー
 ク／竹内秀夫氏 国家総動員法
 一町会隣組を中心に／清水繁氏
 やさしい般若心経／堀川和夫氏
 学童疎開の資料収集の取組み
 足立史談会へ繋ぐ「葛飾史談」16
 号(昭和30年)「花畑町の鷲神
 社」田邊彌太郎
 潤徳学園創立90周年広報から お
 かげさまで90年 第3号／おか
 げさまで90年 第4号
 ◇307 2013.10 A4 8p
 足立区立郷土博物館特別展 大千
 住展 平成25年11月6日～平成
 26年1月26日
 合衆国首府「ワシントンの桜」(13)
 「東京都公園協会 昭和26年刊」

東京市、ワシントンにむけて桜を贈る(4)
足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」から 有形文化財(歴史資料) 竹塚東子の墓 1基、千葉次郎勝風の墓 1基、塩原太助の墓 1基、遊女供養塔 1基
自然教育園と白金台を歩く 9月 探訪報告／各地の研究会の会報など／足立区文化祭／大正記念道碑
榛名講と足立(1) 竹内 秀夫

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1987年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇105 2013.9 A4 8p
多摩川と府中(2)
河原のオギは府中の絶景 中村 武史
企画展 カモの常識 2013/9/21 (土)～2014/3/9(日) 中村 武史
NOTE 古代国府に薬園はあったか？—国府のマチの景観を探る 深澤 靖幸
知る人ぞ知る！府中ゆかりの人物 (10) 依田伊織 花木 知子
最近の発掘調査 布掘り基礎の掘 建柱建物跡 八幡町一丁目 湯瀬 慎彦
連載 天文・宇宙の最新動向(2) いよいよ動き出した次世代大型望遠鏡TMT計画 本間 隆幸

◆板橋史談 板橋史談会
〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
TEL03-5398-2682 1966年創刊
◇277 2013.8 A5 37p

表紙写真解説
「神幸祭」氷川神社(双葉町) 井上 富夫
向原の昔(5)
向原の昔と地理、そして地名 三原寿太郎
『小児養育の心得』について 百瀬 謙三
安井家の文書「明和三年 丙戌歳 御廻状留帳」 増田 妙子
清水治男元副会長を偲んで 泉 貞代
ひろば
勤労働員先での玉音放送の一句に接して 大澤 鷹邇
根津山の現状—人生横丁を覚えていますか 猪瀬 尚志

◆縁 集いの広場 縁フォーラム
〒180-0023東京都武蔵野市境南町2-12-2-603 武蔵野エイトマンション 倉石美都方 2012年創刊
◇4 2013.9 A4 60p
《インターネット特集》
民俗学研究におけるインターネットの活用と留意点 伊藤 穰
インターネットと民俗学 天地 弘
男女の出逢いとインターネット 高久 舞
韓国における恋人のスマートフォン事情 倉石 美都
かわいい文化の通事的研究—少女マンガとリカちゃんを中心に 古橋 達弘
中国における伝統節目の再創出 童 菲
宮古島狩俣の御嶽祭祀のゆくえ—女性祭祀者とムススの関わり 渡邊 わこ

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12 加藤恒彦方
◇393 2013.9 B5 24p
真夏のパワースポット 加藤 恒彦
野生からのメッセージ 矢口 益男

飯能歴史散歩
丹党中山氏の遺跡を歩く 町田 尚夫
子ノ権現の出開帳(1) 酒井 昌樹
奥武蔵・秩父の獅子舞(48)
一柵平稻荷神社と狐つり 関口 洋介
安全対策部コラム
第4回安全登山雑感 坂田 康明
山行報告
高根山から築坂峠 西東 昭夫
谷川岳山開き 河野 尚久
役行者像から越上山 関口 洋介
続編・奥武蔵中世の城跡を歩く
(3) 中城・腰越城 飯塚 孝雄
雲取山 加藤 恒彦
龍谷山・登戸・周助山 藤本 一美
御岳山から大塚山 吉田 修

◆北区史を考える会会報
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10 大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊
◇109 2013.8 B5 6p
第365回 史跡見学会 5月19日(日)
予科練記念館と蔵の町 八木 司郎
地図で見る赤羽の変遷 川上 明
第367回 月例研究会 7月7日(日)
「豊島氏の歴史」1 豊島氏の始まりはどんな人物か？ 伊藤 一美

◆季刊 Collegio 之 潮
〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505
TEL042-328-1503 2005年創刊
www.collegio.jp
◇53 2013.8 B6 48p 300円
富岡八幡宮とその周辺部 松田 磐余
フランス古地図音楽散歩(35)
サン・ジャック通り 関根 敏子
こんな地図があった 清水 靖夫
かな読み講座進行中 吉田 豊

縄文遺跡と地形
一府中市武蔵台遺跡 安孫子昭二
せたがや中世拾い歩き(4) 常磐
塚を過ぎて—四本の芝道を考える 谷山 敦子

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会
〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
TEL03-3355-4188
◇192 2013.9 B4 8p
シー・シーが運ぶ幸せな時間 沖
縄県石垣市白保・宮良 盆とイシタキバラの獅子舞 久保田裕道
これからの催しもの案内 儀礼文化講座／生活芸術講座／儀礼文化研究会／儀礼文化セミナー
組踊鑑賞へのいざない
能と組踊と歌舞伎 狩俣 恵一
沖縄の組踊と琉球古典歌舞伎への招待
レポート
儀礼文化講座 第3回 7月14日(日) 神道「神宮の式年遷宮」
講師：中西正幸 佐々木 寛
儀礼文化研究会 第1回 6月29日(土) 「三頭立て獅子舞」
発表者：飯塚好 久保田裕道
第33回儀礼文化学会春季大会開催
催しは東西「花文化」の融合・フラワーデザイン 平成25年7月20日(土)
会長式辞 中島精太郎
理事長挨拶 現状と展望 倉林 正次
催し 講演 暮らしの花—フラワーデザインの歩みと今のかたち 川崎 景介
一年に一度の旧交を暖める歓宴／本科修了者3名 おめでとうご

ございます
 十月 月ごとの歳事 渡辺良正の
 祭りスケッチ 愛媛県 西条祭
 り 愛媛県西条市／新居浜太鼓
 祭り 愛媛県新居浜市 渡辺 良正
 社会の眼 「寄付金」と「協賛金」
 空本 光弘
 書 棚
 杉谷義純著『仏教から現代を問
 う』春秋社 平成25年8月刊
 1890円（税込） 久保田裕道
 吉川英史監修『神々の音楽』
 公益財団法人日本伝統文化振
 興財団 平成25年4月刊
 18000円（税込） 後藤 正明
 「唱え」の妙味
 一太川敵討 糺の場 田場 裕規
 煎茶の水 小川 可楽
 女川町の獅子振り揃い踏み！
 ◆交通史研究
 交通史学会（発売：吉川弘文館）
 〒365-0023埼玉県鴻巣市笠原1435-1
 波田野富信気付 1976年創刊
 www.kotsushi.org
 ◇81 2013.9 A5 98p
 記念講演論文 韓国交通史研究の
 現状と展望—三国～朝鮮時代の
 陸上道路交通を中心に(2) 趙 炳魯
 淀川改良工事と地域社会 浅井 良亮
 朝鮮通信使人馬役と商人請負制の
 展開—享保4年(1719)通信使行
 列の通行実態から 横山 恭子
 第2回交通史学会大会報告・総会
 報告
 大会報告 常任委員会
 大会発表要旨(自由論題)
 幕末期の駿河国安倍郡と駿府

における茶流通—茶産地村
 落の茶会所運営と横浜開港
 岡村 龍男
 水戸天狗党乱当時における栗
 橋関所の検閲と対応—幕府
 常備軍兵器の査検を中心と
 して 丹治 健蔵
 大会発表要旨(共通論題)
 助郷役負担の村別分析による
 助郷制度再考—東海道藤沢
 宿を対象として 大石三紗子
 東海道三島宿の人馬継立をめ
 ぐる問題の諸相—人馬賃銭
 と天保八年の改革を中心に
 厚地 淳司
 中山道板橋宿の伝馬役負担と
 宿開発 中村 陽平
 中近世移行期中山道における
 伝馬問屋の形成—安中宿・
 軽井沢宿を中心に 荒木美緒知
 共通論題「宿駅研究の現状と課
 題」を終えて 山本 光正
 総会報告 常任委員会
 書 評
 丹治健蔵著『近世関東の水運と
 商品取引』 増田 廣實
 藪内吉彦著『日本郵便創業の歴
 史』 板橋 祐己
 2013年度交通史学会第1回例会報告
 常任委員会
 ◆国史学 国史学会
 〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
 国學院大學史学科気付 TEL03-5466-0246
 www.www2.kokugakuin.ac.jp/~kokushi/
 ◇210 2013.6 A5 122p
 日本近世史とアーリー・モダン・
 ヒストリー—時代区分と比較史

の可能性 デビッド・ハウエル
 高句麗・百濟律令における中国王
 朝の影響についての試論—所謂
 「泰始律令受継説」をめぐる 鄭 東 俊
 室町幕府奉行人飯尾為種考 森 幸夫
 研究ノート 明治期地方都市にお
 ける個別町の組織と機能—川越
 を事例として 伊藤 久志
 書評と紹介 鈴木靖民著『倭国史
 の展開と東アジア』 中野 高行
 例会報告要旨
 9月例会 9月29日(土)
 第一次大戦期の対中国借款問
 題—外務省から見た西原借
 款 塚本 英樹
 幣原外交期の国際環境—戦間
 前期と戦間後期の連続性に
 関する一考察 種稲 秀司
 10月例会 10月6日(土)
 律令法上の「宅」「園地」と
 その史的前提 清武 雄二
 少納言の性格
 一舎人との関係を中心に 林 友里江
 11月例会 12月1日(土)
 畠山国清の乱と伊豆国 杉山 一弥
 木下家文書に残る三通の位記
 一天正十三年の朝廷 遠藤 珠紀
 12月例会 12月15日(土)
 「寄り物」=回遊魚をめぐる歴
 史地理 橋村 修
 資料紹介 國學院大學図書館
 所蔵「山門大絵図・門前町坂
 本絵図」 田中 健司
 ◆史 叢 日本大学史学会
 〒156-8550東京都世田谷区桜上水3-25-40
 日本大学文理学部史学研究室内
 TEL03-3329-1151

◇89 2013.9 A5 98p
 史学史上における日本中世の国家
 と天皇—草創期近代歴史学界の
 回顧から 鈴木 國弘
 戦後における戦没者遺族運動と靖
 国神社—1945～50年を中心に 高津 朋子
 研究ノート 音楽関係者は「ジャ
 ズ」をいかに語ったか—雑誌『音
 楽世界』1929(昭和4)年 10月号
 を中心に 青木 学
 新刊紹介 石川徳幸『日露開戦過
 程におけるメディア言説—明治
 中期の対外思潮をめぐる一試論』
 中田 崇
 ◆品川歴史館紀要 品川区立品川歴史館
 〒140-0014東京都品川区大井6-11-1
 TEL03-3777-4060 1986年創刊
 ◇28 2013.3 B5 124p
 《特集 鉄道開通140年 鉄道考古学を考える
 —特別展「品川鉄道事始」にちなんで》
 新橋停車場の発掘調査
 一その成果と課題 福田 敏一
 汐留遺跡火力発電所から出土した
 品川白煉瓦について 中野 光将
 汽車土瓶の発生と展開
 一茶容器の変遷 國見 徹
 二代目横浜駅遺構調査と横浜の近
 代遺跡 青木 祐介
 展示批評
 「品川鉄道事始」展について 岡田 直
 特別展「品川鉄道事始」の成果
 と課題 中野 光将
 仙台北遺跡における仙台藩下屋敷
 の変遷—近年の醸造用甕研究を
 参考に 中野 光将
 館蔵史料紹介 品川区指定文化財
 大野惟図撰述『南浦地名考』

富川武史／押元沙也香
元品川歴史館専門委員 中村俊亀
智氏を悼む 柘植 信行

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/
◇241 2013.9 A4 8p 400円
区政80周年記念総合文化祭講演
平成24年10月20日 中央線育ち
講師：ねじめ正一先生 西 トミ江
祝 富士山、世界遺産へ
入門、富士講、富士信仰 新村 康敏
石神井城址見学会
平成24年7月10日 服部 建人
行事予定／東京文化財ウィーク史
跡めぐり 蚕糸の森公園から旧
和田堀内村の文化財を訪ねて

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
www11.ocn.ne.jp/~oinari/
◇224 2013.9 B5 33p
秩父市定林寺における奉納絵馬 由谷 裕哉
熊本の八幡信仰と、神功皇后伝承
—菱形八幡宮の事例を中心に 福西 大輔
青森市孫内の淡嶋神社 大島 建彦
第二次世界大戦時下における警察
の説諭教育教材『説諭の栞』に
みられる譬話—通俗警察編 大喜多紀明
青森県天狗像—昔話・伝説・世
間話からの考察 高橋 成
奈良県奈良市中心市街地の地蔵盆
清水 邦彦

◆戦国史研究

戦国史研究会（発売：吉川弘文館）
〒113-0033東京都文京区本郷7-2-8
TEL03-3813-9151 1981年創刊
◇66 2013.8 A5 50p 667円
戦国期における三河吉良氏の動向 谷口 雄太
天正前期の阿波をめぐる政治情勢
—三好存保の動向を中心に 中平 景介
羅針盤
明応九年の伊勢の一向宗蜂起 木下 聡
三好長逸の息子「弓介」につい
て 天野 忠幸
戦国史関係論文目録(平成24年7月
～12月)
例会記録
例会報告要旨
第397回例会 戦国期の中央—
地方の法秩序—鰐淵寺・清水
寺座次相論を中心に 上嶋 康裕
第398回例会
天正期北関東諸氏「惣無事」 宮川 展夫
第399回例会
忍びに関する基礎的考察 荒垣 恒明
第400回例会 戦国大名の戦死
者遺族への戦後補償 小和田哲男
第401回例会 細川晴元被官衆
としての三好氏について 山下真理子
第402回例会
今川氏四分一役再考 遠藤 英弥

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/
◇254 2013.8 A4 2p 100円
江戸の一日
「江戸の一日」の実演を

岩手でボランティア

◇255 2013.9 A4 2p 100円
木魚講
◇256 2013.10 A4 2p 100円
『塵塚談』が載す雑事

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1
梶原方 1991年創刊
tamatiken.web.fc2.com
◇107 2013.8 B5 16p
第22回大会報告 《寺院》から見
えてきた多摩の中世社会—多摩
地域史研究会第21・22回大会が
明らかにしたこと 馬場 喜信
新刊紹介 坂詰秀一著 市民の考
古学10『歴史時代を掘る』 梶原 勝
多摩地域史研究会 第82回例会
史跡 玉川上水の発掘調査—小
平都市計画道路3・4・23号国立
駅大和線の整備に伴う発掘調査

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686東京都国立市中1-9-52
TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
www.tamashin.or.jp
◇151 2013.8 A5 126p
《特集 大久保長安没後四〇〇年》
大久保石見守長安の研究について 村上 直
多摩地域における代官頭大久保長
安の事績と記憶 馬場 憲一
大久保長安死死去前後の状況—
「不正蓄財隠匿説」の評価をめ
ぐって 和泉 清司
奈良における大久保長安の活動 大宮 守友
大久保長安が想い描いた理想の国
常澤 敏彦

洋風建築への誘い(40)

怪獣たちの棲み家——橋大学 伊藤 龍也
建物随想記(35)
怪獣と共棲すること 酒井 哲
多摩の食文化誌(12)
生産量からみた雑穀の歴史 増田 昭子
多摩のみほとけ(14) 府中市龍泉
寺 木造釈迦如来立像 齋藤 経生
19世紀の山麓社会
—山はどう扱われた 石井 道郎
『武蔵野市史』編纂事業の50年 森 安彦
まちの情報ハブ・図書館(14)
武蔵野市立図書館 丸本 真澄
西東京市図書館 岩崎 幸代
情報 多摩の博物館だより

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火
止4-8-43 柚須絃一方 FAX03-3964-8548
tias3.web.fc2.com
◇102 2013.9 A4 6p
理化学研究所 板橋分所
関連団体情報(産業考古学会)／関
連団体情報(産業考古学会 電
気と機械の分科会)／他団体情
報(日本計量史学会)
報告 見学会 我が国物理学発祥
の地を訪ねる 多田 統一
報告 報告会「甲武鉄道と中央線
の建設について」 柚須 絃一
第5回理事会の議事概要
新刊紹介1 関西を考える会『探
検！発見！関西の近代化遺産』
明治安田生命「関西を考える会」
発行 2013年6月 非売品 平井 東幸
新刊紹介2 『大人のまち歩き』
秋山秀一著 2013年5月 新典

社 1600円＋税 多田 統一

新刊紹介3 『知的好奇心を満たす旅 北九州市“産業観光”』 市原猛志監修 北九州市観光部にぎわい推進課 2013年4月 非売品 多田 統一

新刊紹介4 『ローカル線で地域を元気にする方法』 鳥塚亮著 2013年 晶文社 1500円＋税 多田 統一

短信 日本機械学会、「機械遺産」6件を認定 平井 東幸

報告 見学会 天然ガスとヨウ素の里を訪ねて「合同資源産業と磯部鉾石資料館」 吉田 修

茨城県牛久市の赤煉瓦建築物(6) 「シャトーカミヤ(牛久シャトー)ワインセラー」(6) 八木 司郎

◆日本民俗学 日本民俗学会 〒113-0034東京都文京区湯島4-12-3 TEL03-5815-2265 年8000円 1953年創刊 www.fsjnet.jp

◇275 2013.8 A5 154p

小特集 民俗研究は文字文化をどう扱うか

文字文化を扱うことで民俗研究の視界はどのように広がるか

一文字の伝承と書物の民俗 小池 淳一

系図と子孫—琉球王府士族の家譜の今日における意義 武井 基見

修験道聖教典籍にみる書物の表

象と機能—民俗学と書誌学 久野 俊彦

周縁の史料学の可能性 渡部 圭一

書 評

高田照世著『祖霊と精霊の祭場—地域における民俗宗教の諸相—』 徳丸 亜木

岡田照子編著『瀬川清子—女性

民俗学者の軌跡—』 鶴 理恵子

フォーラム シンポジウム「花祭の継承と地域連携」2012年 名古屋大学

花祭の継承と映像記録 佐々木重洋

花祭 映像記録の継承 北村 皆雄

民俗芸能の伝承と保存—奥三河花祭りの現況から 山崎 一司

民俗文化の映像化をめぐる川村 清志

フォーラム 学術交流報告 日独学術交流と日本への講演旅行— 2010年9月

アルプレヒト・レーマン／訳・及川祥平

◆練馬郷土史研究会会報 〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31 吉越正博方 TEL03-3996-4454 1956年創刊

◇347 2013.9 A4 4p

昭和三十年代～四十年代の練馬と今(2) 葛城 明彦

練馬の城を往く(8)

栗山城(練馬区練馬二丁目) 八巻 孝夫

昭和史雑感 昭和天皇と将軍達 (19) 真崎甚三郎(16) 鎌田 茂男

◆法政人類学 法政大学人類学研究会 〒186-0005東京都国立市西3-7-29 アゼリア国立Ⅱ101 長沢方 年2000円

◇94 2003.3 B5 19p

彰考館旧蔵「蝦夷チヤランケ並淨瑠璃言」に収録されたアイヌ古文献「玉盃之席亭主江祝儀之口上」について—修辭論的な視点からの考察 大喜多紀明

「ナンバ歩き」について(上) 森 健太郎

アミ族の成年式—1994年夏の記録(14) 長沢 利明

◇95 2003.6 B5 19p

地名「唐干田・大唐田」の拾集(1) 菅野 郁雄

「ナンバ歩き」について(下) 森 健太郎

◇96 2003.9 B5 19p

群馬県下における「カタス」関係の調査資料(上) 井田 安雄

嗣法山傳心寺の原魯古石碑と『用算比例自在』—横浜市金沢区 大喜多紀明

◇97 2003.12 B5 19p

群馬県下における「カタス」関係の調査資料(下) 井田 安雄

地名「唐干田・大唐田」の拾集(2) 菅野 郁雄

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会 〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学演劇博物館内 TEL03-3203-4141 年6000円 1985年創刊

◇55 2013.9 A5 144p

〈平成22年度民俗芸能学会大会シンポジウム 震災地における民俗芸能再生に向けて—現状と課題〉

震災地における民俗芸能再生に向けて 平山 徹

みんなでいち早く復活させた平磯虎舞 高橋 弘則

福島県における被災地の民俗芸能の再興 懸田 弘訓

顕在化した民俗芸能・祭の力 茂木 栄

民俗芸能学会福島調査団の報告 懸田 弘訓

宮城県下の被災地芸能復活に向けて 小谷 竜介

討 論 司会・小島美子

椎葉神楽における荒神—神楽祭文にみる荒神の中世迪像容について 井上 隆弘

田植踊イメージの再検討—江戸時

代中期から後期における仙台藩を事例に 沼田 愛

研究ノート 浅草木馬館史—浅草大衆芸能の側面(前) 兵頭 美子

書 評

伊賀市伝統文化活性化事業実行委員会編『伊賀のかんこ踊り 総合調査報告書』 中村 茂子

鹿角市教育委員会編『花輪祭り』 桂 博章

中嶋奈津子著『早池峰岳神楽の継承と伝播』 神田より子

渡辺伸夫著『椎葉神楽発掘』 永池 健二

◆神奈川県立歴史博物館だより 〒231-0006横浜市中区南仲通5-60 TEL045-201-0926 1967年創刊 ch.kanagawa-museum.jp

◇194 (19-2) 2013.9 A4 8p

表紙 源義経外題安堵源康忠解 平墳時代 東京・個人蔵

中世文書は奥深く、おもしろい！—秋季特別展「こもんじょ ゑんまい」によせて 古川元也／永井晋

当館の御札・御守コレクションについて 新井 裕美

◆コロス 常民文化研究会 〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊

◇134 2013.8 B5 6p

家計簿と地域社会—社会生活(5) 張 艶

家計簿と地域社会—食文化(5) 洪 志 承

文化的景観を歩く—葛飾柴又帝釈天参道を寅さんと歩く(1) 西海 賢二

◇135 2013.10 B5 6p

本から考える—書籍史料論のために 時枝 務

文化的景観を歩く―葛飾柴又帝釈
天参道を寅さんと歩く(2) 西海 賢二

◆厚木市史たより

〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17
厚木市教育委員会文化財保護課
TEL046-225-2060 2010年創刊
◇9 2013.7 A4 4p
登山1号墳出土の埴輪群をめぐっ
て 望月 幹夫

◆寒川文書館だより

〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-
1 TEL0467-75-3691 2007年創刊
www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp

◇14 2013.9 A4 8p

表紙 給料遅配をめぐる沼田頼輔
の書状(明治22年)
資料紹介 頼輔先生の手紙―お給
料をください(当館蔵/佐藤稔
氏旧蔵) 渡辺 真治

文書館運営審議会が改選
シリーズ 寒川の先人たち(10)
初めての女性町議会議員―藤本
菊子 高木 秀彰

資料保存ワークショップ「水損資
料等の応急措置を学ぶ」襖の
下張り/水損資料
広がる図書館との共同事業 図書
館・文書館体験ツアー/雑誌コ
ーナーミニ展示

寒川古文書愛読会が発足
第14回企画展 さむかわの道
平成25年3月～8月31日

文書館 最近のできごと 古文書
講座 全6回/中央大学・東京
大学視察見学/アーカイブズ実
習/東京都公文書館・特別区協

議会共催セミナー

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3
横浜開港資料館気付 TEL045-201-2169
年2000円

◇61 2013.8 B5 4p
定期総会 2013年度定期総会/研
究例会 第88回例会
情報ネットワーク
新刊書・論文/展示
会員インフォメーション 近刊案
内 篠崎尚夫編『鉄道と地域の
社会経済史』

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
19-104 寺田兼方方 1980年復刊

◇132 2013.8 B5 28p
あらためて鎌倉を世界遺産に 榊原 智之
伯耆で暮らして

南部町境遺跡群発掘記 浜野 浩美
グループ活動の記録(6)「長後天
満宮周辺の中世の溝」(第8回活
動報告) 伊藤 郭

さば神社を考える(21) 南相馬市
の製鉄遺跡と貞観大地震 西村堅一郎
心の考古学まで(5) 古要 祐慶

「勝坂縄文展」見学記 浜野 祐之
「第8回 若手研究者を囲む勉強会」
を聞いて 赤胴 邦子
「N.G.マンロー特別展」見学記 梶山 昇

「発掘された日本列島 2013」展を
見学して 伊藤 吉雄
グループ活動の記録(7)
「早川城跡」(第9回活動報告) 天野 弘一
平成25年度 湘南考古学同好会
定例総会の記録 須田 英一

新刊報告書の紹介/湘南考古学同
好会の機関誌「合本」のご案内

◆戦争と民衆

戦時下の小田原地方を記録する会
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方 1980年創刊

◇71 2013.8 A5 16p
聞き取り 子どもの頃に見た戦争
話し手:秋澤八千代
解説 学童集団疎開
解説 小田原地方(足柄平野)の本
土決戦

書籍紹介 矢野茂夫著『わが半生
の記』/書籍出版のご案内『語
り伝えよう小田原の戦争体験』
交流報告「横浜大空襲祈念の集
い」参加記 矢野 慎一

戦争碑を訪ねて
大船の原爆慰霊碑を訪ねて 井上 弘
続・地域で戦争を伝えるものを調
べて(3) 神山神社境内の魚雷
と戦争碑 矢野 慎一
カンパありがとうございます/戦
争体験を『戦争と民衆』に載せ
たい方を紹介してください

◆日本地名研究所通信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106
1993年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~timeiken/

◇77 2013.8 B5 6p
猛暑の夏に 谷川 健一
第32回地名研究者大会に参加して

単純ではない地名解釈 住吉献太郎
研究誌『伊那谷の地名』発刊
風土と人びとを結ぶ文化 原 董
えみしとアイヌ語 柴田 弘武

アイヌ語地名と地震 山本 修平

お知らせ 第24回えみし文化ゼミ
ナール in 久慈 2013年 北東
北の縄文と北部えみし
我が家に関わる災害地名 池之端甚衛
提 案
大会に子どもを登場させたい 高木 浩朗

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方 TEL0465-22-8852
年2500円 2003年創刊
hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/

◇41 2013.9 A5 104p 500円
小田原の鉄道の歴史を話します 梅沢 功一
元禄俳諧・フランス詩からみた自

然への感性について 井田 三夫
酒匂だより「狗尾草」 町田紀美子
備中伊勢氏の御家老の家系「笠原
晃氏」(その2 新九郎薬師) 今川 徳子
桜町仕法における文政八年の不作
尾上 武

ボクの映画館(21) スクリーンの
酒場であいましょう! 平倉 正
長谷川庄吉さんに聞いた入生田の
こと 長谷川庄吉
岩手県大槌町の前川善兵衛さんと

小田原 小貝 眞
言葉が見つからない とく山たかし
「郷土文化」新聞の頃(1) 青木 良一
始まりの人(6) 珠光(下) 茂木 光春

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊

◇545 (46-5) 2013.8 A5 24p 350円
渋沢敬三と地方の民俗研究家

一越後三面村 丹田二郎 池田 哲夫
 民具短信 私のおしゃもじ考(3)
 一「おしゃもじとは？」柳田國
 男氏による回答、残った謎「羽
 黒大明神のおしゃもじ」その1 加藤 節男
 民具短信 ナシ族の魚伏籠 安室 知
 ◇546 (46-6) 2013.9 A5 24p 350円
 手縫い製靴工程の特徴と道具 中島 順子
 民具短信 私のおしゃもじ考(4)
 一「おしゃもじとは？」柳田國
 男氏による回答、残った謎「羽
 黒大明神のおしゃもじ」その2 加藤 節男
 ◇547 (46-7) 2013.10 A5 24p 350円
 特集号 テーマ「日記」
 「日記」座談会の開催にあたって
 鈴木 通大
 特集「日記」座談会(前)
 井上攻／佐藤広／永島政彦
 ／増田昭子／安室知／コー
 ディネーター・鈴木通大
 近藤雅樹氏を偲ぶ 佐野 賢治

◆悠 久
 鶴岡八幡宮悠久事務局（発売：おうふう）
 〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31
 TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊
 ◇132 2013.8 A5 84p 680円
 《特集 賀茂信仰Ⅱ》
 口絵 賀茂の神饌
 エッセイ 国民栄誉賞に想う 福田 富昭
 賀茂別雷神社の年中祭祀 藤木 保誠
 賀茂御祖神社の年中祭祀 嵯峨井 建
 勅祭・賀茂祭 宇野日出生
 小論文
 荘園へ移入した賀茂信仰ー富山
 県 下村・加茂神社
 野上克裕／松山充宏
 賀茂那備神社とその祭祀 茂木 栄

資料 「カモ」社一覧ー神話と荘
 園に関わる「カモ」社を中心と
 して 新木 直安
 口絵解説 賀茂の神饌 加瀬 直弥
 八幡宮紹介 大井保窪八幡神社
 （山梨県山梨市）
 新刊紹介 『神道の美術』加藤健
 司・畑中章宏・平松温子著／『樺
 太の神社』山田一孝・前田孝和
 編

中 部

◆頸城文化 上越郷土研究会
 〒942-0081新潟県上越市五智6-1-11
 花ヶ前盛明方 TEL025-543-4354
 1952年創刊
 ◇61 2013.9 A5 210p
 《高田開府四百年 特集号》
 高田藩開府四〇〇年と高田藩 植木 宏
 高田築城の十年後に始まる松平光
 長時代の年貢皆済状 清沢 聰
 宝永・正徳期越後代官の役所と支
 配一戸野目・四ヶ所から黒井・
 福田役所へ 本山 幸一
 資料紹介 「榊原政令書状集」と
 政令の直裁 花岡 公貴
 北陸新幹線工事と遺跡発掘調査に
 思う 土田 孝雄
 資料紹介 火打山山頂採集の「龍
 生白山御正躰」銘の懸仏鏡面
 （追記） 小池 義人
 頸城郡の駅伝路（北陸道と東山道
 支路） 鰐渕 好輝
 「とひたのまき」は上越市牧区上
 牧一星野欣也氏の説を紹介 太田 空賢
 板倉三善氏の本姓、遠祖、本貫の
 地 三島 義教
 長尾上杉氏の家格上昇運動に関す

る考察 諸井 幸枝
 長尾晴景の虚像と実像 土井 重男
 お館の乱、起因の分析と栃尾の経
 緯 石田 哲彌
 『慶長二年越後国頸城郡絵図』を
 読んで一気がついたこと(2) 渡邊 昭二
 越後の陣屋と台場 花ヶ前盛明
 頸城越山に光を求めて(1)ー藩士
 と瞽女、集落先達、その地政学
 的視点 丸山 正男
 神田原山の富永一族 大坪 晃
 板倉町の馬頭観世音像・碑の調査
 一故大場厚順先生を偲んで 佐藤 幸雄

◆良寛だより 全国良寛会会報
 〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
 化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
 1978年創刊
 ◇142 2013.10 A4 20p
 良寛遺墨解説(100)
 良寛筆「ももなかの…」 加藤 僖一
 新 良寛尊像つれづれ(4)
 読書良寛座像 茂木弘次作 涌井 茂
 折々の良寛(31) 第36回全国良寛
 会総会 柏崎大会開催 長谷川義明
 平成26年度(第37回)全国良寛会柏
 崎大会「予告」／平成25年度
 全国良寛会役員／全国良寛会総
 会 開催日・会場・講師一覧
 にいがた文化の記憶館
 開設記念講演会と式典 開催 加藤 僖一
 今、なぜ良寛か
 一良寛が教えてくれたもの 市川 忠夫
 良寛会への提言
 会員の高齢化など 藤田 正夫
 良寛 虫の音のうた 素描 吉田 福恵
 言葉の呪縛からとき放たれるとき
 一良寛が照らす頭山満、そして

現代社会 久保田 岳
 新作落語「良寛ものがたり」初公
 開 柳本 雄司
 禅僧・良寛の笑い
 一新作落語を聞いて 北嶋 藤郷
 国際色豊かな「良寛画」展 「Tell
 me about Ryokan」 小田原良寛
 会 岩城 葉子
 新美南吉生誕百年記念
 南吉に「良寛」あり！ 阿部 浩
 新刊紹介 『會津八一の初期の書
 と良寛』角田勝久著／『良寛探
 究』塩浦林也著／『宇宙時代の
 良寛ーエコ神学者トマス・ペリ
 ーと共に』延原時行著／『石に
 学ぶ』一一隅を照らす「石」と
 の出会い 高木寛治著／『花美
 術館ー特集良寛』Vol.31／『首
 里城への坂道』鎌倉芳太郎と近
 代沖縄の群像 与那原惠著 加藤 僖一
 会報・会誌のご紹介 加藤 僖一
 追悼 千明恵津子様／新入会員の
 ご紹介

◆とやま民俗 富山民俗の会
 〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民
 俗資料館内 年3000円 1974年創刊
 ◇80 2013.9 A5 33p
 富山県における鳥追いの地域性 後藤麻衣子
 地名考 蓑島 良二
 利賀村奥大勘場民俗点描(8)ー藤
 井吉信家所有民具の復元的調査
 森 俊
 小矢部川上流域で造られていた、
 ドブザケの製法ー刀利谷を中心
 として 加藤 享子
 葬式の花かごについて 安ヶ川恵子
 訃報 高田善太郎氏 佐伯 安一

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会
〒918-8113福井県福井市下馬町51-11
福井県立図書館内 TEL0776-33-8860
年3500円 1956年創刊

◇296 (58-1) 2013.8 B5 62p
白山麓国境地域の検討
一越境する人々 竹間 芳明
真宗高田派寺院の越前における盛衰 松原 信之
北陸自由民権運動の起伏 三上 一夫
松平主馬家の屋敷絵図について 国京 克巳

◆飯田市歴史ニュース 飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp

◇65 2013.8 A4 4p
第11回飯田市地域史研究集会 古
代の交通と地方社会—イナ・シ
ナノとその周辺 8月24日(土)
・25日(日)
新刊案内 飯田・上飯田の歴史
下巻好評発売中!!／飯田市歴史
研究所年報⑪
新スタッフ紹介 千葉拓真研究員
7月より開講しました
古文書入門講座、盛況 伊坪 達郎
平沢清人没後40周年ワークショッ
プ 平沢史学を学び直す／ほか

◆伊 那 伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円

◇1023 (61-8) 2013.8 A5 54p 500円
《特集 りんご並木60周年特集》
口絵 りんご並木の両面の碑 北城 節雄
りんご並木60周年を迎えて 壬生 英文
「りんご並木」物語 武藤 高義
大きな穴を掘る 加賀美鐵雄

松島校長先生の講話からとても大
きな感銘を受けました 加藤 武
親子二代のりんご並木 清水久美栄
りんごが初めて結実した年 椎名 治一
昭和45年度の出来事から 小島 康晴
夢みのれ 千葉 裕康
父の位牌に供えられたりんご 神村 透
りんご並木に寄せて 小林恭之助
ビンゴ・なみさんへ送った人形 吉川千鶴子
りんご並木ができる前の道／りん
ご並木廃止論にみる当時の世相
原田 望
りんご並木手入れの一年 米川マリア
りんご並木の教育実践としての意
義についての覚書 附りんご並
木の沿革 田中 清一

◇1024 (61-9) 2013.9 A5 50p 500円
口 絵
中央構造線 程野露頭の発見 坂本 正夫
地域の自然遺産とともに生きる 蛭間 啓
座光寺小学校六年生のフクロウ保
護活動 田畑 孝宏
カタツムリを集めて約五十年 飯島 國昭
あんな水・こんな水 浅野 清志
南アルプスジオパーク(中央構造
線エリア)とは何か? 坂本 正夫
伊那史学会 信毎賞受賞報告
◇1025 (61-10) 2013.10 A5 50p 500円
口絵 「尹良親王御志世い」歌 原 董
飯田町の御札降り(2) 伊坪 達郎
代官市岡理右衛門清次の実像—綱
吉「天和の治」代官受難時代の
悲劇 松澤 保
桃澤茂春とところどころ(1) 桃澤 匡行
大正期における三宮殿下の天龍川
下航記録(2)—大平峠を越えて
来飯した北白川宮殿下 鎌倉 貞男
神之峰城址表面採集陶器破片の謎

を追って 市橋 雄一

◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2
TEL0265-78-6719 年5000円

◇679 (57-8) 2013.8 A5 40p 500円
《終戦特集号》
現伊那小学校ほか数校に中島飛行
機疎開計画—児童労働で戦闘機
生産遂行ねらう 久保田 登
赤穂町(現駒ヶ根市)にきた第5農
耕勤務隊第9中隊 小池 金義
平成24年度特別展「日中、アジア・
太平洋戦争と中川村」から
中川村歴史民俗資料館
リヤカーで東京南千住から引き揚
げ 北原 昌弘
追悼慰霊碑「在知」を拝む 矢澤 喬治
伊那市創造館に眠る159冊の『写真
週報』 小松 由以
第20回信毎賞 受賞報告
考古あれこれ(22) 島崎遺跡第10
号住居址出土の小型深鉢群 濱 慎一
師匠の背中(2)より(58)
師匠の意味 若林 徹男

◇680 (57-9) 2013.9 A5 40p 500円
故赤羽篤先生に捧げる『『吾妻鏡』
における菅冠者討伐一件の歴史
的意義について』補遺(1) 赤羽 義章
「古文書」って楽しい 酒井 巖
郡役所常円寺仮設当時の上伊那郡
政の実態 伊藤 一夫
桃澤如水も列席した橋本雅邦の還
暦祝賀会 桃澤 匡行
親子二代 追憶の西駒ヶ岳 山岸 貢
伊那谷のハチクマ・ツミ・ハイタ
カー民俗の窓を通して(19) 吉田 保晴
高山の植物(12) ハクサンチドリ

中ア高山のラン 田中 茂
文化短信 若者の記録
中川村青年会の会誌・機関紙 三浦 孝美
古文書の窓(113)
六老の図—老いる 松澤英太郎
師匠の背中(2)より(59)
戦地には行けなかった師匠 若林 徹男

◇681 (57-10) 2013.10 A5 40p 500円
《民俗特集号》
上伊那における茅葺き民家—昭和
初期の茅葺き民家調査と現状と
の比較考察 矢澤 静二
短歌 破袋大黒柱鬼の首(3) 野溝 直人
名工伝 守屋貞治(1)—守屋家石
工三代100年の足跡 田中 清文
わらべ歌などは音階の基準に合わ
せて記譜したいもの—日本伝統
音楽の記譜法の乱れについて 竹淵 修二
年中無休で回るお灯笼様(常夜灯)
宮原 達明
戦後の結婚式(お客)の思い出 北原 昌弘
日本の子育て(5)
三つ子の魂百まで 大槻 武治
高山の植物(13) イチヨウラン
南アルプスで見かけた植物(1) 田中 茂
文化短信
辰野いきものネットワーク 赤羽 義洋
師匠の背中(2)より(60)
そばの味 若林 徹男

◆伊那民俗
柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊

◇94 2013.9 B5 8p
表紙 出壁(だし)／裸祭りの連合
大三国 岡庭 圭佑

桶振りの誇りを受け継いで—後継者からみた七久里神社の裸祭り 岡庭 圭佑

探訪会「今に生きる民俗を訪ねて」第3回 飯田の町内会の祭り「津島様」を訪ねる

民俗学入門講座第5・6回 福田アジオ所長講演要旨

第5回『東のバカ・西のアホ』（6月18日）熊谷文世／今井啓

第6回『民俗学の方法』（7月18日）今井 啓

柳田國男研究会フィールドワーク 孝行猿・矢立木の地などを訪ねて 折山 邦彦

◆信 濃 信濃史学会
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
TEL0263-36-1785 年8400円
www.shinano-shigakukai.jp

◇763 (65-8) 2013.8 A5 86p 900円

長野県民の足尾銅山鉍毒被害救済の実相(上)―田中正造没後100年にあたり 小平 千文

織田政権下の堺と今井宗久 柴辻 俊六

昭和初期における製糸工女求人連絡について―須坂市職業紹介所史料を中心に 町田 祐一

史料紹介 加賀藩収集の弘化四年善光寺大地震関係情報について(下)―「信州路大地震記」の紹介 中村美美子／青木美智男

総会報告 信濃史学会2013(平成25)年度定期総会―組織の見直しによる新役員体制構築を打ち出す 本会事務局

◇764 (65-9) 2013.9 A5 134p 900円

《会誌『信濃』創刊(総巻)900号》

足利義材政権と小笠原氏—小笠原同名氏族間交流と故実の相承 村石 正行

村の召集令状―長野県北安曇郡社村の兵事文書から 小松 芳郎

長野県民の足尾銅山鉍毒被害救済の実相(下)―田中正造没後100年にあたり 小平 千文

研究ノート

「戌の満水」覚書 青木 隆幸

信州における雛の販売と流通―近世から近代にかけての動き 小野 和英

動向 長野県の地方史(地域史)関係団体・組織 山浦 寿

資料紹介 「一志茂樹文庫」 小林 茂喜

◇765 (65-10) 2013.10 A5 82p 900円

地理学小特集

軽井沢地名の成立 江川 良武

牛伏寺の森の由来を探る 小山 泰弘

近現代の出作りにみる山村の生活と農業形態―長野県旧清内路村を事例として 市川 康夫

「国造」領域の分割と律令制的地域再編成―広域「評」分割関する試論 関口 功一

追悼 塚本学氏

塚本学先生の思い出 熊井 保

人生の師塚本学先生 笹本 正治

追悼塚本学先生 飯島 千秋

塚本学著『塚本明毅』紹介 青木 歳幸

◆長 野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/

◇290 2013.8 A5 48p 500円

口絵 善光寺の鎮守・湯福神社の茅の輪くぐり

閉館した長野商工会館・ニュー商工について 小林竜太郎

夏目漱石と信州(5)

夫人の善光寺行き 中田 敬三

小林計一郎の原点(14)

渡辺敏先生伝(12) 小林計一郎

古代史「淳足柵」について 田辺 吟子

私たちの会のあゆみ／出版

『近世修験道の諸相』を上梓して 由谷 裕哉

『山岳に生きる建築』を出版して 梅干野成央

善光寺出開帳レポート

今回の善光寺御開帳に繋がる出開帳 小林 玲子

信州善光寺の出開帳で「善光寺如来」の絵解きを拝聴 麻布十兵衛

朝陽支部発足10周年記念事業 高原 英男

『長野』第281～290号目次／創刊号～第290号発行年月一覧

表紙解説 小林 玲子

◇291 2013.10 A5 48p 500円

口絵 一茶が訪れた高山村

瀬脇のお観音様遷座百年祭 太田 正彦

長野県のスキー・スケートの移入―スキーの移入・受講者たち 白田 明

夏目漱石と信州(6) 漱石と飯田 中田 敬三

田頭巖窟観世音自然園 山口 昇

クイズに挑戦

紅葉の高山村文学散歩と一茶講座

「長野」創刊号～第291号発行年月一覧

「善光寺参り絵解き図制作プロジェクト」の発足について 小林 玲子

他団体の行事のお知らせ

表紙解説 小林 一郎

◆長野県民俗の会通信
〒390-0851長野県松本市島内3427-45
小原稔方方 年5000円

www.k2.dion.ne.jp/~folklore/

◇237 2013.9 B5 8p

生きていく愛と勇気としての民俗―ドキュメンタリー映画『先祖になる』を観賞して 中田 亮

飯田大火復興の節 伊藤 友久

堤端にあるドイツトウヒの森―長野県民俗の会第186回例会報告 三石 稔

◆ふきはら ふきはら文化の会
〒399-4603長野県上伊那郡箕輪町三日町2243 TEL0265-79-1601 2009年創刊

◇17 2013.4 A5 107p 500円

『保科正之公』出版まで(下) 春日 正明

日本活動写真『黒部の太陽』(1) 西村 重治

関征雄大尉とその母そして山本五十六 北原 勝

耳なし千次(下) 大槻 武治

コラム 満蒙開拓団平和記念館オープン／伊那谷巡り絵本シリーズについて／小野街道 小沢さとし

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会
〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1
岐阜県図書館内 TEL058-275-5111
年2800円 1973年創刊
www.library.pref.gifu.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm

◇120 2013.9 B5 36p

《創立40周年記念特別号》

四〇周年を迎えて 丸山幸太郎

創立40周年記念シンポジウム メインテーマ「美濃・飛騨再考」―その特性の追究と活用 加藤 迪男

パネラー発表

郷土資料としての自然分野の研究について 古田 靖志

飛騨・美濃

近現代産業史研究の意義 根岸 秀行

飛騨史研究の今後 福井 重治
 観光資源としての郷土料理 日比野光敏
 郷土研究・岐阜 No1～No119
 発行順 総目次
 分類順 総目次
 講演会講師・演題一覧
 執筆者一覧
 復刻資料一覧表



＊2013年に創立40周年を迎えた岐阜県郷土資料研究協議会の設立は、1973年に岐阜県図書館の村瀬田良氏が、郷土研究の各分野の人々に呼びかけたことに始まる。当時は、岐阜県史編纂が開始され、これに触発されて市町村史編纂の機運が高まった時期に当たり、県図書館所蔵の郷土資料の利用と問い合わせが増大化していた。そこで、郷土資料や郷土研究に関する情報交換、図書館所蔵の郷土資料の復刻などの必要性が説かれ、考古、歴史、地理、民俗、自然、産業経済、文芸、芸能など幅広い分野から参集し、今日に至っている。120号を数える会報には、創刊当初から県図書館の郷土関係逐次刊行物文献目録を連載して郷土資料情報を提供している。また、同会の主要な活動として、県図書館が所蔵する重要な郷土資料の復刻がある。これまでに明治12年刊行の安田益二著『岐阜県下戸長名鑑 一名・仮名附郡村名戸長名鑑』など80余点に

及び、郷土史研究に大きな貢献を果たしている。図書館を拠点とする郷土史研究会は愛媛県立図書館内に置かれた伊予史談会などがあるが、図書館活動と有機的に連動した組織体は他に例を見ない。ただ、自治体財政の逼迫から、図書館職員の削減などがあり、研究発表の場である「郷資研サロン」が年2回から1回になり、現在は休止状態になるなどの影響が出ている。研究会としての独自に体力をつけ、継続して行っていきたいと願うものである。なお、2013年6月に会報とは別に、佐伯浩「土岐康行の乱と美濃国の変動」など24点の論考を収録した『創立40周年記念論集』（本誌「寄贈図書紹介」に掲載）が刊行されている。

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
 〒438-0086静岡県磐田市見付3532
 TEL0538-32-3546 2007年創刊
 www4.tokai.or.jp/child-c.jp/

◇75 2013.8 A4 4p
 湯河原町吉浜の鹿島踊り 吉川 祐子
 ◇76 2013.9 A4 4p
 旧小河内村の伝承芸能 吉川 祐子
 ◇77 2013.10 A4 4p
 島田大祭の伝統と変化 吉川 祐子
 寄贈資料紹介

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
 年4000円
 ◇419 2013.8 B5 4p 200円
 6月例会報告 平井和子氏「橋下
 発言」が投げかけるもの—女性
 史からの批判的検証 長谷川尚美
 二宮尊行・志賀直温と静岡県 樋口 雄彦
 資料調査余談 橋本 誠一

◇420 2013.9 B5 4p 200円
 会告 総会 2013年10月14日(月)
 ／記念講演会 原田敬一氏：日
 本近代外交史研究と教科書
 9月例会レジュメ
 大杉栄から受け継ぐこと 大杉 豊
 大杉栄らの墓前祭と静岡県近代史
 研究会 小池 善之
 7月例会報告 板倉美奈子氏「国
 際法と領土帰属問題—これまで
 の裁判例の紹介・検討—」 小笠原康晴
 日本軍「慰安婦」問題ウェブサイ
 ト オープンのお知らせ
 ◇421 2013.10 B5 4p 200円
 原田敬一氏の記念講演に期待する
 村瀬 隆彦
 市原正恵さんに報恩 岩田 晶
 論文紹介 青木祐一著「静岡県立
 葵文庫とその事業—アーカイブ
 ズの観点から—」 岡村 龍男
 『近代静岡の文化と女性 市原正
 恵遺稿集』訂正と補遺

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市長和区鶴舞1-1-155
 名古屋市鶴舞中央図書館
 TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊
 ◇219 (68-1) 2013.8 A5 116p 1500円
 天文期の犬山城と犬山城天守閣の
 移築について 横山 住雄
 桶狭間古戦考証(1) 尾畑 太三
 織田有楽長益と大野城 早川 住宏
 都築家の系図—大森寺覚書その一— 小林 元
 春日井の俳諧(3)—内々神社奉納
 額、「奉納俳諧」文化三年(1806)
 を中心にして 大野 哲夫
 図絵に見る尾張の街道風景(12) 櫻井 芳昭

萬歳帳等に記された清須の「信長
 祭」 半田 実
 会員著作紹介
 櫻井芳昭氏『牛車』 林 順子

◆銃砲史研究 日本銃砲史学会

〒441-1305愛知県新城市武広字信玄原552
 新城市設楽歴史史料館内 湯浅大司気付
 TEL0536-22-0673 年10000円 1968年創刊
 ◇377 2013.9 A4 59p 1000円
 《日本銃砲史学会創立50周年》
 幕末佐賀藩における長崎砲台の見
 聞記録 前田達男／田口美季
 解題 敵前大回頭に関する黨論文
 の評価と今日的実相 堤 明夫
 再録 日本海海戦における東郷艦
 隊の敵前大角度方向転換につい
 て 黛 治夫
 例会発表 第390回例会報告 関
 東譜代の軍事レベル—壬生藩
 士・テクノクラート友平栄を中
 心に(中野正人)／兵器生産の歴
 史から何を学ぶか(飯島矢素夫)
 ／岩倉使節団の見た欧米軍事情
 情・銃砲関連(室賀脩)／米沢藩
 鉄砲の文久二年製・黒色火薬の
 分析(瀧上昭治)／幕末佐賀藩に
 おける長崎砲台の見聞記録(前
 田達男・田口美季)
 講義概要 兵器生産の歴史から何
 を学ぶか 矢島矢素夫
 文献紹介 宇田川武久著『幕末も
 う一つの鉄砲伝来』 名古屋 貢
 新刊紹介 宇田川武久編『日本銃
 砲の歴史と技術』 宇田川武久

◆博物館問題研究 博物館問題研究会

〒420-0822静岡市葵区宮前町159-7-101

金原功方
 museum.cocolog-nifty.com/hakumonken/
 ◇30 2008.6 A4 57p
 はじめに『博物館問題研究』第
 30号刊行にあたって
 ミニ・シンポジウム開催にあたって
 報告1
 小谷利明氏「地域博物館の現状」
 報告2 坂本昇氏「博物館チェッ
 クシート活動から見えてくるも
 の」
 質疑応答—その1
 報告3 名見耶明氏「日本博物館
 協会・博物館評価検討委員会に
 参加して」
 質疑応答—その2
 資料「博問研ニュース」No215(再
 録) 当日配布レジュメ・資料
 博物館問題研究会の記録(2003年
 度)
 ◇31 2008.6 A4 78p
 小特集 国立ハンセン病資料館
 リニューアル
 あなたは、やさしいか？
 一 成田稔先生の講演ノート 成田 稔
 ハンセン病資料館が持つ意義 稲葉 上道
 当事者の人生を非当事者が展示
 するということ—ハンセン病
 資料館リニューアルを通じて
 西浦 直子
 2005年5月例会の記録 墨田区「産
 業・教育資料室きねがわ」に学ぶ
 岩田 明夫
 見晴台遺跡と市民発掘 瀬瀬 茂
 足尾の現在—エコミュージアムか
 ら世界遺産に 武川 夏樹
 埋蔵文化財保護行政と公立博物館
 —かながわ考古学財団の廃止問

題を中心に考える 依田 亮一
 博物館問題の展望 新テーマ「博
 物館の存在基盤を検証する」に
 参加して 金原 功
 博物館問題研究会の記録XI(2004
 年～2007年) 事務局
 ◆まつり通信 まつり同好会
 〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
 TEL0567-37-0441 年5000円
 ◇567(53-5) 2013.9 B5 8p 600円
 9・10月の予定／新刊紹介 儀礼
 文化ニュース 190号 儀礼文
 化学会会報
 山梨・藤尾の獅子舞 石川 博司
 高浜七年祭見学の記録 関根 健夫
 第62回全国民俗芸能大会／第55回
 平成25年度ブロック別民俗芸能
 大会 出演芸能等紹介
 表紙写真のことは 赤崎祭り
 山口県長門市東深川赤崎神社 渡辺 良正
 ◆史料 皇學館大学史料編纂所報
 〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
 TEL0596-22-6462 年1000円 1978年創刊
 ◇239 2013.9 B5 16p 300円
 式内社丹生川上神社鎮座地考(上)
 白井伊佐牟
 荊木所蔵の未公開拓本について
 一 広開土王碑研究の一齣(5) 荊木 美行
 鈴木重胤の風土記研究—『延喜式
 祝詞講義』を中心に 近藤左知子
 近 畿
 ◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団
 〒520-0044大津市京町4-3-28 滋賀県厚生
 会館 TEL077-522-8369 年2520円
 1977年創刊 www.shiga-bunshin.or.jp

◇145(37-4) 2013.10 B5 92p 600円
 《特集 近江を歩く 滋賀を走る》
 第1部 走る喜び
 ジョギングする喜び 高石ともや
 2013(第23回)あざいお市マラソ
 ン 長浜文化スポーツ振興事業団
 2013(第27回)あいの土山マラソ
 ン あいの土山文化体育振興会
 2013(第32回)びわ湖高島栗マラ
 ソン 高島市教育委員会
 県庁走友会 田中 弘明
 第2部 歩く楽しみ
 滋賀県ウォーキング協会 志村 里士
 ビワイチ 編集 室
 ツーデーマーチ
 長浜文化スポーツ振興事業団
 歩くマラソン 若吉 浩二
 第3部
 観音さんとコンサート 植田 耕司
 市民マラソン
 四季をめぐる健康食 秋編 実り
 の秋 ゆっくりおいしく食べま
 しょう！
 元気な商店街その魅力(2) 長浜
 市(大手門通り・ゆう壺番街・
 ながはま御坊表参道・やわた夢
 生小路・博物館通り) 町田 雅子
 談話室(14) 鳥瞰図のすすめ プ
 ロックダイアグラム手法を駆使
 し鳥の目で巡遊して自分の世界
 を創る 延木由起子
 いまどきの“元気なお社”見聞(9)
 栗東市荒張 大野神社
 辻村琴美／辻村耕司
 インタビュー 大宮聡欄宜
 滋賀文化事情
 Chapter1 近江中世城跡琵琶湖
 一周のろし駅伝 泉 峰一

Chapter2
 びわ湖ホール開館15周年
 近江人物伝(17) 一庭啓二 黒船
 寄港に衝撃を受け、蒸気船を造
 り 湖上に一番丸を走らせ、汽
 船商社営む 木村 至宏
 カラーグラビア
 四季をめぐる健康食・秋の夕食
 三上山風便り(11) 日の出前 八田 正文
 おわび紙と書と言葉(8) 増田 洲明
 近江の水をめぐる(4)
 道端の水、巡りあう水 石川 亮
 わたしと湖国(3) 滋賀の魅力を
 白洲正子によって再発見 啓発
 や生涯学習の経験を観光に生か
 す 城念 久子
 北から南から
 百年後の今も役立つオランダ堰
 堤 山田 勝彦
 学び舎の伝統ある灯り、今も工
 場で活躍 赤尾 和美
 甲賀町で今年も熱く燃える花笠
 のドラマ 野口 観道
 縄文時代にさかのぼるヲシテ文
 字 熊谷 もも
 家庭廃油を活用した光のファン
 タジー「コトナリエ」 門野 昇二
 最澄ゆかりの牛の寺
 三雲の園養寺 鈴木 強
 文振だより
 Report1 しが県民芸術創造館
 子どもらに人気 長さ10メー
 トルの緑のカーテン 井本 久美
 Report2 県立文化産業交流会
 館 湖北では初の文化体験フ
 ェスティバル 夏休みの親子
 連れでにぎわい 山口 季恵
 Report3 希望が丘文化公園青

年の城 化石の発掘や野鳥、
夜空の観察 自然の中でのび
のびと体験 木村 貞樹
Report4 滋賀県文化振興財団
11月12日(火)に初の読者交流
会 「瀬田唐橋」がテーマ、
現地見学も 「湖国と文化」編集室
ニュースの小箱
ご支援に感謝 夢キラリ文化基金
「湖国と文化」 「湖国と文化」編集室
歴史文書は語る 県政史料室から
(9) 行政文書の整理・保存に
ついて高い意識 工藤 克洋
おうみ(近江)おうみ(多見)歩く
(11) 黒田・大音から賤ヶ岳へ
加藤 賢治
現代滋賀ブランド(12) 石造文化
財 石塔から石橋まで多彩に花
開いた石の文化 大塚 活美
心と体のツボ(1) 自然の中で心
も体ものびのびと 横田 佳子

◆彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100 1988年創刊
longlife.city.hikone.shiga.jp/museum/
◇102 2013.9 A4 4p
資料紹介 井伊直興新田分知証文
当館蔵 青木 俊郎
展示案内 9月～12月 企画展
9/20～10/22 展示室1 近江と
能一霊場・名門・物語／10/25
～11/26 特別展 展示室1・2
天下普請の城 彦根城―世界遺
産登録へ向けて／テーマ展
11/29～12/22 展示室1 橋と
井桁―彦根藩主井伊家の家紋
催し 第47回彦根城能／入門講座

・美術編／出張講座「あなたの
街の歴史探訪」／スケジュール
研究余録 金亀玉鶴 『梅若実日
記』に見る井伊直忠の演能 茨木 恵美

◆民俗文化 滋賀民俗学会
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊
sigaminzoku.fc2web.com
◇599 2013.8 B5 12p 400円
七と十一の文化(8)
山本五十六の幻影(1) 長谷川博美
新訳「石山軍記」抄(8) 馬場杉右衛門
牛馬繋ぎについて
一滋賀県湖北地方 粕渕 宏昭
「こじ」(松茸採集道具)について 粕渕 宏昭
花林糖(かりんとう)について 粕渕 宏昭
続・終戦直後のどさくさ物語 西浦 左門
「狐憑き」が減ったことと「狐」が
減ったことの因果 大喜多紀明
講談師 旭堂南陵(二代目)の聞き
書き一代記(28) 菅沼晃次郎
◇600 2013.9 B5 12p 400円
歴史は人類の心の栄養源―仲間同
士の殺し合いは止めよう 菅沼晃次郎
七と十一の文化(9)
山本五十六の幻影(2) 長谷川博美
新訳「石山軍記」抄(9) 馬場杉右衛門
加瀬山にまつわる底なし穴の話
一川崎市幸区加瀬山 大喜多紀明
予知の世界とは 田中 春二
戦争の遺物「防毒面」 西浦 左門
「一類孤魂等衆」の石碑について
一米原市醒ヶ井 粕渕 宏昭
舟小屋について―福井・滋賀など
粕渕 宏昭
醤油・酒樽の呑み口について 粕渕 宏昭
講談師 旭堂南陵(二代目)の聞き

書き一代記(29) 菅沼晃次郎
◇601 2013.10 B5 12p 400円
生きるだけで思想的に何もできな
かった日本人―一時の権力者に従
順に生きてきただけか? 菅沼晃次郎
七と十一の文化(10) 米国の9.11
事件を考察する(1) 長谷川博美
湖北万葉集の歌枕(1) 馬場杉右衛門
出版案内(既刊) 大津祭総合調査
報告書、小津神社の祭礼と芸能、
木地屋の移住史、今堀日吉神社
文書、日本神信仰史の研究、地
名でわかる歴史
滋賀県下の水力発電所建設と電燈
普及について 大村 進
「二の足を踏む」について 粕渕 宏昭
「きつね憑き」について―現在に
残る「迷信打破」運動による影
響を再考する必要性 大喜多紀明
子守歌について 粕渕 宏昭
熱収縮(シュリンク)フィルムにつ
いて 粕渕 宏昭
講談師 旭堂南陵(二代目)の聞き
書き一代記(30) 菅沼晃次郎

◆大山崎町歴史資料館館報
〒618-0071京都府乙訓郡大山崎町大山崎字
竜光3 TEL075-952-6288 1995年創刊
◇18 2012.3 A4 20p
ごあいさつ 堀井 正光
平成22年度日誌抄録／公開展示・
講演会／普及事業／平成22年度
入館者一覧表／受領図書一覧表
調査・研究報告編(20) 吉田初三
郎『島本町大山崎村史蹟景勝島
瞰図』について 福島 克彦

◆京都市政史編さん通信
京都市市政史編さん委員会
〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る
松蔭町138-1 京都市歴史資料館内
TEL075-241-4312 1999年創刊
city.kyoto.jp/somu/rekishi/
◇46 2013.8 A4 10p
新出の慶応年間の岩倉具視関係書
簡について 松中 博
展示紹介 「京都市歴史資料館ミ
ニ展示 新島八重と京都」 秋元 せき

◆古代史の海 「古代史の海」の会
〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
中村修方 FAX075-392-3743
年4000円 1995年創刊
www7.ocn.ne.jp/kodaishi/
◇73 2013.9 A5 96p 1500円
巻頭言 古代史における「定説」
について 尾関 章
姫路市長越遺跡出土の壺形土器の
絵画について 野田 昌夫
厩戸大王論 中村 修
尾張氏系譜への一試論 尾関 章
会員ひろば(小休止)
斯麻宿禰と草香部氏 渡部 正路
前回(72回)「小休止」欄につい
ての若干の釈明 山中 光一
アンデス通信(26) 市木 尚利
書評 和田晴吾著『私の出会っ
た生きものたち』 河野 宏文
「明石原人」と直良信夫再考(補) 下司 和男
中村修氏の拙著批判について 安本 美典
悲壽の人・福本正夫(2) 中村 修

◆史迹と美術 史迹美術同致会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊
 ◇837 (83-7) 2013.8 A5 34p 915円
 口絵 福井 養浩館
 佐川田喜六昌俊について(1)―『佐
 河田氏壺齋碍銘并挽詞引』をめ
 ぐって(下) 村上 泰昭
 日本の塔百選(17) 根来寺大塔 中西 亨
 聚楽第の石垣(1) 加藤 繁生
 第984回例会
 京都鴨川西岸の文化財と史跡 加藤 繁生
 第985回例会 建部大社と石山寺
 湖南の文化財 矢ヶ崎善太郎
 口絵写真解説 中西 亨
 ◇838 (83-8) 2013.9 A5 34 915円
 口絵 誓願寺とその付近(2月例
 会)、北河内の文化財(3月例会)
 仲哀・神功紀小考 田寺 英治
 日本の塔百選(18) 道成寺三重塔
 中西 亨
 先人調査の隠れキリシタン墓碑に
 関して 本田 義幾
 第986回例会
 誓願寺とその付近をたずねて 加藤 友規
 第987回例会 北河内の四条畷市
 から交野市・枚方市の文化財を
 訪ねて 松永 修輔

◆史談福智山 福知山史談会
 〒620-0884京都府福知山市堀495-3
 塩見昭吾方 TEL0773-22-7546
 ◇737 2013.8 B5 6p
 福知山史談会夏の例会報告 緑陰
 講座(平成25年度)「狛犬寸話」
 講師：塩見昭吾顧問(概要報告
 編集者)
 山城探訪報告 梅垣秀基／芦田弘夫
 訂正のお願い
 ◇738 2013.9 B5 6p

遊行上人の廻国
 ー北近畿の巡錫を中心 嵐 光激
 ◇739 2013.10 B5 4p
 三岳下佐々木の宝篋印塔と中世墓
 崎山 正人
 琵琶湖の水を飲み干した侍 大槻 伸

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
 〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
 TEL075-465-8151 1993年創刊
 www.ritsume.ac.jp/mng/er/wp-museum/
 ◇59 (21-1) 2013.8 A4 24p
 スポット ミュージアムの所蔵品
 (56)『愛国いろはかるた』
 巻頭つれづれ
 「水は低きに流れる」 安斎 育郎
 館長だより 過去の記憶と未来を
 迎える想像力 モンテ・カセム
 ここが見どころ 平和創造展示室
 ：世界法廷を動かした地球市民
 山根 和代
 運営委員リレー連載
 心に平和をもたらすもの 神子 直之
 ミュージアムおすすめの一冊 金
 森俊朗著『いのちの教科書ー学
 校と家庭で育てたい生きる基礎
 力』(角川書店 2003年10月刊)
 赤沢 真世

ミニ企画展
 開催報告(2013年2月～5月)
 事業報告 2013年度 春季特別展
 ジミー・ットム・ミリキタニ回
 顧展ー日系人強制収容所と9.11
 を体験した反骨のホームレス画
 家／特別企画展示 丸木スマ展
 ー生命をみつめて／ロビー展示
 A Picture for Pease UNOY／
 第8回 国際平和・人権連続セ

ミナー平和の諸相を見る／学
 生企画 Art によって児童労働
 をなくそう！／NGO ワークシ
 ョップ報告(2013年 第1回)／夏
 休み親子企画「へいわ」ってな
 に?? 2013

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
 〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
 www.eonet.ne.jp/~sanonokai/
 ◇308 2013.8 B5 14p
 近世初頭の佐野村の土地諸帳簿
 (上) 井田 寿邦
 熊野古道の旅(第19回)
 大辺路(3) 北山 理
 和泉の中世城郭(21) 井田 寿邦
 ◇309 2013.9 B5 14p
 第19回熊野古道の旅に参加して 奥野 茂代
 近世初頭の佐野村の土地諸帳簿
 (下) 井田 寿邦
 「兼葭堂日記」にみる食野・唐金家
 および泉州佐野について(2)
 よねかずゆうたろう
 和泉の中世城郭(22) 井田 寿邦
 ◇310 2013.10 B5 14p
 お菊の嫁ぎ先山口家の大坂夏の陣
 「山口喜内興廃実録」から(上) 樋野 修司
 江戸中期の泉州佐野浦食野家代々
 (1) 井田 寿邦
 和泉の中世城郭(23) 井田 寿邦
 泉州の引き札展 下村 欣司

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所
 〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2
 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333
 1980年創刊
 www.oml.city.osaka.jp/hensansho/

◇80 2013.7 A5 118p 700円
 《特集 生誕百年 織田作之助》
 織田作之助と大阪を考える 三島 佑一
 織田作之助の原風景ー生まれ育っ
 た路地から見た町こそ大阪の真
 髓か 高橋 俊郎
 みおつくし 絵本忠臣蔵 松本 望
 梶井基次郎・武田麟太郎・織田作
 之助ー大阪的リアリズム文学の
 系譜、その一断片 宮川 康
 「織田文庫」書簡に見る昭和21年
 の織田作之助 小笠原弘之
 「大阪の洋画家 小出梢重ー石濱家
 文書を中心にー」展について 古川 武志
 『大阪の歴史』第79号の訂正／近
 刊紹介 『大阪の歴史』第79号、
 『大阪市史史料』第78輯 小出
 梢重の手紙ー石濱純太郎宛書翰
 集
 藤本篤氏を偲ぶ 堀田 暁生
 新刊図書紹介
 O S K日本歌劇団90周年誌編集
 委員会編『O S K日本歌劇団
 90周年誌 桜咲く国でーO S
 Kレビューの90年ー』 古川 武志
 栗本智代著『カリスマ案内人と
 行く大阪まち歩き』 古川 武志
 四元弥寿著『なにわ古書肆鹿田
 松霊堂五代のあゆみ』 堀田 暁生
 横山篤夫・西川寿勝編著『兵士
 たちがみた日露戦争』 松岡 弘之

◆大阪歴史懇談会会報
 〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
 ィークショップー兵内 TEL06-6931-1081
 年5000円 1984年創刊
 blog.goo.ne.jp/rekisitanbou/
 ◇348 (30-8) 2013.8 B5 8p

巻頭言 古文書苦楽部より(7)
 文と気候の挨拶 寺井 正文
 第324回例会案内／見る・聞く・
 学ぶ／会員の動き／会からの
 お知らせ／事務局からのお知らせ
 7月例会報告(第323回) 「万葉集
 から見た難波」―大和人の憧憬
 ― 村田右富美氏 川村 一彦
 古文書講座(第139回) 「酒造減石
 につき請書」 石川道子先生 寺井 正文
 ◇349 (30-9) 2013.9 B5 8p
 巻頭言 古文書苦楽部より(8)
 文と気候の挨拶 寺井 正文
 第325回例会案内／見る・聞く・
 学ぶ／会員の動き／会からの
 お知らせ／事務局からのお知らせ
 8月例会報告(第324回) 平成25年
 度本会定時総会／演題「伊古奈
 比咩命と羽衣伝説」馬場寛氏
 (朝山・小池)
 会員特別寄稿 小倉百人一首歌碑
 めぐり 一、百人一首について
 足立捷一郎
 ◇350 (30-10) 2013.10 B5 8p
 巻頭言 古文書苦楽部より(9)
 飛脚便について 寺井 正文
 第326回例会案内／見る・聞く・
 学ぶ／会員の動き／会からの
 お知らせ／事務局からのお知らせ
 9月例会報告(第325回) 演題「知
 られざる島津斉彬の系譜」藤田
 誠氏／古文書講座(第140回) 演
 題「明暗寺留場契約証」石川道
 子先生 (井川)
 会員特別寄稿 小倉百人一首歌碑
 めぐり 二、歌碑めぐり 足立捷一郎

◆大塩研究 大塩事件研究会
 〒530-0053大阪市北区末広町1-7
 成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊
 ◇69 2013.9 A5 70p
 大塩聖人論の近代化展開 森田 康夫
 企画展「天下の台所大坂と徳島―
 江戸時代の交流史―」覚書 松永 友和
 平八郎(小川政兵衛)と「源後素」小西 利子
 大塩平八郎の息子を追って 小西 克介
 大塩と私(16) 齋藤正和氏に聞く
 久保 在久
 酒井前会長の遺品について 岸本 隆巳
 研究会発行書籍等ご案内

◆かいづか文化財だより テンブス
 貝塚市教育委員会
 〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1
 TEL072-433-7126 1996年創刊
 ◇50 2013.8 A4 8p
 表紙 孝恩寺松瀬青々句碑／木造
 弥勒菩薩坐像
 俳人 松瀬青々(せいせい)と貝塚
 孝恩寺の仏像―如来(4) 阿弥陀
 如来2 重要文化財 木造阿弥
 陀如来坐像 1軀
 古文書をひも解く ため池から公
 園へ／古文書講座「江戸時代の
 湯治」／古文書講座(第42回) 開
 催のお知らせ テーマ「江戸時
 代のため池と池普請」
 『貝塚市の70年』刊行 3000円(500
 部限定)、A4版、総302ページ

◆家系研究協議会会報
 〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
 1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
 年5000円 2002年創刊
 www.geocities.jp/kakenkyou/

◇45 2013.8 B5 8p
 蔵書整理で思うこと 浪平 博司
 家系研究協議会 平成25年度春の
 例会報告／平成25年度総会報告
 家研協たより／家系研究協議会次
 回例会予定
 珍名さんいらっしゃい(42) 眞野 幹也

◆河童通心 和田寛
 〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
 TEL072-251-2586 年2400円
 ◇352 2013.8 A5 22p 200円
 河童に擬せられたもの(1)
 ジュゴン(儒艮)／ミズチ(蛟) 和田 寛
 ◇353 2013.9 A5 16p 200円
 河童に擬せられたもの(2) カエ
 ル(蛙)／アカガメ(赤鼈)／トラ
 ツグミ(虎鶯) 和田 寛
 ◇354 2013.10 A5 22p 200円
 「ガマの油」と「河童の妙薬」 和田 寛

◆近畿文化 近畿文化会
 〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
 上本町YUFURA 7階
 TEL06-6775-3686 年2200円
 ◇765 2013.8 A4 10p 300円
 京都の戦争遺跡 駒井 正明
 葛城の古社と葛城王権 菅谷 文則
 ◇766 2013.9 A4 8p 300円
 唐招提寺の埴仏 松浦 正昭
 奈良・大阪・神戸の創設期水道施
 設 石田 成年
 ◇767 2013.10 A4 14p 300円
 秀吉時代の桃山様式を考える(1) 櫻井 敏雄
 吉田山周辺の建築と庭園 矢ヶ崎善太郎

◆左海民俗 堺民俗会
 〒593-8307堺市西区平岡町268-20

下谷佐吉方 TEL072-274-1479 年3000円
 ◇143 2013.9 B5 10p
 人との出会いから学ぶ
 一ごろつきの話など 下谷 佐吉
 天正10年来堺時の徳川家康の宿所
 岸 繁司
 大東亜戦争敗戦と戦後の時代(1)
 南海大地震と男女共学 生駒 道弘
 わが老春へのプロローグ 田口 弘子
 学文路大師参りと胃癌 川埜喜美江
 白内障の手術 宇都 隆洋
 詩吟教室 高田 朗代
 トンボ釣り(ブリ) 米道 綱夫
 第67回総会報告
 例会報告
 5月例会報告(5月18日) 甲山と
 周辺の古跡を見る―北山緑化
 植物園を訪ねて 大森 治
 6月例会報告(6月2日) 上野芝
 ・土塔・白鷺公園を歩く 佐原 浩二
 7月例会報告(7月9日)
 「額紫陽花を描く」 秋原 俊彦

◆城だより 日本古城友の会
 〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
 平川大輔方 TEL06-6652-4511
 web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/
 ◇536 2013.8 B5 22p
 甲賀 伊佐野城、嵯峨城ほかを探
 訪します(9月・第599回例会の
 ご案内)
 10月・第600回例会の予告／セミ
 ナー等のご案内／受贈図書・資
 料／城郭ニュース(新聞記事提
 供者)／会長所蔵写真から 大
 阪城東外堀
 7月・第597回例会の報告 知多郡
 大野城、大草城、阿久比(坂部)

城、寺本城 柏木 隆
 会員通信
 近畿周辺一大名陣屋とその町そ
 の村 はじめに／1 近江宮
 川陣屋 上田 正和
 関東の山城 松山城などを探索
 水品 弘樹
 「城を巡る堀・濠―最近の事例か
 ら―」を開く 木下 修二
 新聞記事紹介
 ◇537 2013.9 B5 22p
 播磨 鶴居城などを探訪します
 (10月・第600回例会のご案内)
 11月・第601回例会の予告／セミ
 ナー等のご案内／受贈図書・資
 料／城郭ニュース(新聞記事提
 供者)
 8月・第598回例会の報告
 大坂冬の陣関係遺跡と講演会 平川 大輔
 会員通信 近畿周辺一大名陣屋と
 その町その村(承前) 2 近江仁
 正寺陣屋(のち改称 西大路)／3
 近江山上陣屋 上田 正和
 新聞記事紹介
 ◇538 2013.10 B5 22p
 創立50周年記念式典・祝賀会を開
 催します(11月・第601回例会の
 ご案内)
 12月・第602回例会の予告／セミ
 ナーなどのご案内／受贈図書・
 資料／城郭ニュース(新聞記事
 提供者)
 9月・第599回例会の報告 甲賀野
 洲川流域の8城(バスツアー) 中西 徹
 計報 尾原隆男会長
 ‘お城はいいね’因幡はいいよ 川端 義憲
 会長 尾原さんの計報に接し 上田 正和
 尾原会長 鳥取県の城廻り、あり

がとうございました 森田 又一
 尾原会長との出会い 平河 大輔
 寄 稿
 尾原さん、藤井さんや大西さん
 によろしく 藤川 祐作
 NHKのカルチャーセンターを
 通じて 水品 弘樹
 新聞記事紹介
 ◆つどい 豊中歴史同好会
 〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
 山口久幸方 TEL06-6857-4959
 homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
 ◇307 2013.8 B5 20p
 東大寺の盧舎那仏と河内国大県郡
 の智識寺(下) 塚口 義信
 大和国葛城北部の史跡を訪ねる
 (後) 今中 典男
 読書室 継体天皇と朝鮮半島の謎
 水谷千秋
 ◇308 2013.9 B5 22p
 歴史学からみた四・五世紀の伊勢
 とヤマト政権 荊木 美行
 三島古墳群と新池遺跡を訪ねる
 (前) 阪口 孝男
 ◇309 2013.10 B5 18p
 四・五世紀における海浜遺跡とヤ
 マト政権―舞鶴市千歳下遺跡の
 調査報告から 野島 永
 三島古墳群と新池遺跡を訪ねる
 (後) 阪口 孝男
 ◆歴史懇談 大阪歴史懇談会
 〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
 ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
 年5000円 1987年創刊
 blog.goo.ne.jp/rekisitannbou/
 ◇27 2013.8 B5 103p 1500円

表紙のことば 沙沙貴神社「乃木
 さんのお言葉」碑より
 玉山金山(7)
 一松坂新右衛門定宣 松坂 定徳
 石見吉川家十代目
 吉川式部少輔経家(9) 田村 紘一
 三本の矢の虚像と実像 安居 隆行
 世界から認めてもらえない国カビ
 ンダについて―通貨から見たカ
 ビンダ(Cabinda) 久保 敏博
 「古文書から探る高瀬舟」
 一高梁川の運賃と物価 中澤 祐一
 信州伊那谷の温泉思考 急変貌し
 た伊那谷の温泉に注目 小林 司
 古代史仮定論―固有法の時代 岩谷 隆行
 匈奴国と戦争中、邪馬台国は遷都
 した(九州長崎から近畿大和へ)
 道家康之助
 「記紀」と「魏志倭人伝」の論点 川村 一彦
 池田市出身兵士・細井末広の「大
 東亜戦争参戦記」を読む(続) 室田 卓雄
 大阪城公園の梅林を訪ねて 大西 怜子
 韓流時代劇を見て 磯崎 素子
 加賀藩の儒者と朝鮮鮮「花硯」(補
 正) 片倉 穰
 新島八重の関西を中心とした足跡
 益尾 宏之
 源氏物語 千年紀によせて(上) 稲垣 隆造
 本会元副会長 松本正彦さん追悼
 元副会長 松本正彦さんの死の
 報に 田村 紘一
 「はじめに人ありき」(「歴史懇
 談」第8号より転載) 松本 正彦
 平成24年度の歩み 磯崎 素子
 ◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会
 〒671-1332兵庫県たつの市御津町室津457
 たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595

年3000円 1997年創刊
 www.maple.or.jp/~shimaya/
 ◇20 2013.9 B5 53p
 誌上ギャラリー 幻想華 西明寺末一
 誌上インタビュー
 琉球国からの使節団 横山 學
 《特集 琉球使節》
 江戸幕府と琉球使節 荒野 泰典
 御手洗は琉球を忘れない 片岡 智
 瀧球司樂向生碑 戸田 和吉
 琉球使節と室津 柏山 泰訓
 琉球使節文献案内 編集部
 琉球使節一覧
 水で繋がれた歴史の中で(6)
 賀茂神社と海の莊園 岩井 忠彦
 広告世相史 一言居士
 町並み探訪(20) 大長 八木 雅夫
 十冊の本を読む(10) 『ピダハン
 「言語本能」を越える文化と世
 界観』 安井 道夫
 博物館遊歩(20) 松濤園 柏山 泰訓
 クロスワードパズル／室津ミュー
 ジアムニュース／ふれあいフォ
 ーラム
 ◆西宮文化協会会報
 〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
 西宮神社内 TEL0798-33-0321
 ◇545 2013.8 B5 8p
 おりょうの萬葉浴筆すざび展(書
 画)と文学歴史学者(西宮文化協
 会会長)山下忠男のお話し
 西宮史談会から西宮文化協会への
 歩み(2) 山下 忠男
 廣田神社道標に就いて 藤田卯三郎
 古典芸能に見る阪神の風土 河内 厚郎
 創作ミュージカル有間皇子物語の
 公演 山口町での新たなカルチ

ヤーの創造 日高 昭夫
西宮文化協会 歴代会長
◇546 2013.9 B5 8p
9月行事 観月祭と月見の宴
西宮史談会から西宮文化協会への
歩み(3) 山下 忠男
イグアス・ナスカ・クスコ・マチ
ュピチュ紀行(2) 二宮 健
軸と語らう
「托僧往還図」南天棒 堀内 陽光
西宮市大谷記念美術館「イタリア
ボローニャ国際原画展」 8月17
日～9月23日
◇547 2013.10 B5 8p
10月行事 文化講演会 阪神沿線
の文学―村上春樹のことなど
講師：小西巧治
西宮史談会から西宮文化協会への
歩み(4) 山下 忠男
千載一遇の神宮
白石持行事に参加して 村岡 和繁
イグアス・ナスカ・クスコ・マチ
ュピチュ紀行(3) 二宮 健
ビデオ映像から見た今日(こんに
ち)の西宮 赤松 敏博
平成25年(10月～12月) 美術館・
博物館等展示の御紹介

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0555
年3000円 1962年創刊
◇299 (52-4) 2013.8 A5 57p 600円
《特集 50周年記念号6 古代・中世の西摂》
史人の道草つづり書き 故郷に作
品を飾った彫刻家がいた。 田藤 新
仁木宏さんに聞く「歴史研究・文
化財保存と地域社会」 富松城

跡の保存と活用から見える課題
話者・仁木宏／聞き手・辻川敦
尼崎にあった藤原邦綱の別荘・寺
江亭 曲江 三郎
清盛「悪行」の真相 中島 豊
摂津国における国人領主制
一塩川氏を例に 柴谷 慶
森田君の思い違い 橘川 真一
新聞地域版を読む
◇300 (52-5) 2013.10 A5 49 600円
《特集 神戸の中世・近世史》
連載企画 兵庫の戦後モダニズム
建築 第14回 カトリック宝塚
教会 笠原 一人
兵庫下庄の変遷と中世白川村の自
治 木南 弘
史料紹介 摂津国八部郡大手村東
須磨村山論 永野 温子
尼崎藩の明和期綿作禁止令―天明
二年の綿作騒擾事件から 岸添 和義
「兵庫開港」とプチャーチン 竹村 勝昌
小倉和正さんを悼む 寺尾 嘉男
新聞地域版を読む

◆紀伊考古学研究 紀伊考古学研究会
〒642-0014和歌山県海南市小野田1221-1
前田敬彦方 1998年創刊
◇15 2012.8 B5 82p 2000円
和歌山県松瀬・高津尾両遺跡の下
層石器群について 中原 正光
和歌山県出土のトロトロ石器 前田 敬彦
中飯降遺跡の縄文土器について 富永 里菜
紀伊の牧 丹野 拓
資料紹介
和歌山県内で採集した旧石器新
資料Ⅱ 北村 純治
三浦家家紋の鬼瓦について 奥村 薫
報告 浦宏氏の丸山古墳調査報告

の紹介 中村 貞史
和歌山県の考古学関係文献目録
(2011年) 事務局
◇16 2013.8 B5 106p 2000円
小特集 和歌山県の埴輪
西日本型双脚輪状文形埴輪につ
いて 加藤 俊平
紀ノ川流域の古墳時代前・中期
の円筒形埴輪 河内 一浩
西庄遺跡出土の埴輪について 藤藪 勝則
紀ノ川流域出土埴輪の蛍光X線
分析 三辻利一／富加見泰彦／前田敬彦
太田・黒田遺跡における弥生集落
成立期の様相について 大木 要
第Ⅴ様式土器の一地域性―紀淡海
峡を挟んだ第Ⅴ様式土器の地域
性と交流関係 田中 元浩
寺内63号墳出土鉄鏃の再検討―紀
伊における古墳時代中期鉄鏃の
一例として 岩井 顕彦
和歌山平野における円錐形鉛イン
ゴットと鉛製鉄砲玉―城山遺跡
の「織豊系陣城」評価と出土遺
物の検討 北野 隆亮
資料紹介 和歌山城出土の地鎮・
鎮壇具とみられる瓶子について 奥村 薫
和歌山県の考古学関係文献目録
(2012年) 事務局

◆熊野学研究 国際熊野学会
〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市教育委員
会文化振興課 TEL0735-23-3368
年3000円 2010年創刊
〒168-8555東京都杉並区永福1-9-1
明治大学和泉校舎 林研究室
TEL03-5300-1298
◇2 2013.3 A5 80p

念々往生＝永遠の今
――一遍の称名と遊行 金山 明生
『両峯問答秘抄』の撰述に関する
推論 川崎 剛志
熊野の祭りと精進潔斎
一聖なる世界の「斎戒」性 櫻井 治男
研究ノート 熊野からさらなる無
漏の地を訪ねる―東吉野の歴史
散歩 玉本 太平
エッセイ 『聖地熊野の祭りと磐
座信仰』に参加して 南 ちよみ

◆国際熊野学会会報
〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市
教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
年3000円 2005年創刊
◇20 2013.8 B5 4p
韓国寺院に魅せられて二十五年 林 雅彦
明治大学・新宮市連携講座 第7
回熊野学フォーラム(予告)「熊
野は○だぁー！―何事を我に
語るやー」／国際熊野学会 熊
野地区例会(予告) テーマ「古
座川流域の自然と歴史(仮題)」
国際熊野学会東京例会 in Seoul・
日韓共同シンポジウム 文化は
誰のものか？ Part2―日本文化
をめぐって 9月12日(木)～9月
14日(土)

中国・四国

◆郷土石見
〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15
児島俊平方 TEL0855-22-2567 1976年創刊
◇93 2013.8 A5 148p 1200円
乙女峠覚書 山岡 浩二
浜田藩士・絵図方「土井恪助」伝
(下) 岩町 功

天明・天保の大飢饉と酒造り一川
 本村 三上家文書を中心として
 森脇 登
 柿本佐留と石見(6)
 ーその歴史学的考察 安達 肇
 昭和、戦争の中を生きた
 ー反面教師として見つめよう 下垣 秀典
 四方山(よもやま)落書き帖 小島 清文
 町から村から
 『沙羅の木』覚え書 林 量三
 虚言 福井壽美子
 故郷を思う 原田 かえ
 笹ユリ 大矢 幸子
 仁摩町の今昔 山内 博道
 石見の希少高等動物 宮本 巖
 資料 島根県邑智郡邑南町矢上・
 清水屋本田植歌集(3) 田中 瑩一
 平成24年度事業報告
 表紙写真「トンビ舞う風景」(浜
 田漁港) 松谷 敏秀
 ◆大社の史話 大社史話会
 〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1
 稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円
 1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp
 ◇176 2013.9 B5 64p
 会長就任にあたって 馬庭 孝司
 大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・創
 る(9) 神迎の道の会のおもて
 なし 青木 敦生
 大社観光史研究(1) 戦後大社観
 光の光と影ー老舗旅館番頭への
 聞き書きから 岩成 俊策
 鷲 峠 神田 力
 大社の同人誌『文鳥』について 馬庭 將光
 大社の狛犬 藤原 慧
 中学生出雲弁川柳 出雲市立大社中学校3年
 出雲弁よもやま話ーみやしうんな

あなはった(出産された)キャサ
 リン妃 村上 清子
 アテンダントのご縁物語(1)ー古
 代出雲歴史博物館で紡ぐ“出雲
 の縁” 竹下 朋子
 出雲地域の歴史と文化(8)(湖陵町)
 佐志武神社奉納神事華 野坂 俊之
 出雲地域の歴史と文化(9)(古志町)
 両古志村の入会をめぐる山論 斎藤 一
 日置風水の紀行文
 『佐志武神社』を読む(2) 山崎 隆司
 日本海運史料(7) 出雲国鷺浦船
 問屋讃岐屋旧蔵 船御改控帳 藤澤 秀晴
 企画展「山陰の黎明 縄文のムラ
 と暮らし」 古代出雲歴史博物館
 ミニ企画展 出雲を掘る 第四話
 銭ー出雲のじえねこを考古学す
 る 出雲弥生の森博物館
 手銭記念館の四季 茶の湯の愉し
 み 5ー取り合わせをたのしむ 佐々木杏里
 読者コーナー 編集部
 史話会だより 編集部
 消えゆくもの(41)ー町のみせ屋 春木 芳子
 平成25年4月～6月出雲市大社町年
 表 編集部
 ◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会
 〒704-8113岡山市東区西大寺2-6-36
 村上岳方 TEL086-942-6156
 年1500円 1986年創刊
 homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
 ◇130 2013.9 B5 46p
 「法事の赦」の構造分析
 ー岡山藩池田家を事例に 谷口 眞子
 合評会『環境の日本史4』を読む
 書評 水本邦彦編『環境の日本
 史4 人々の営みと近世の自
 然』 森元 純一

書評会参加記 水本 邦彦
 参加記 水本邦彦編『環境の日
 本史4 人々の営みと近世の
 自然』の合評会に書評して 糸川 風太
 紹介 北村章編『備前国八幡八幡
 宮関係史料』 内池 英樹
 博物館・展覧会めぐり 岡山県立
 博物館 栄西禪師八〇〇回忌記
 念事業 平成二十五年度特別展
 「栄西」を観覧して 辰田 芳雄
 歴史談話室 小瀬中務と小瀬甫庵
 大西 泰正
 岡山県地域史研究文獻目録(近現
 代の部)
 ◆きび野 岡山県郷土文化財団
 〒700-0813岡山市北区石関町2-1
 TEL086-233-2505
 ◇131 2013.9 A5 14p
 表紙説明 原撫松『老人像』 廣瀬 就久
 随 想
 ねねの硯箱 杉原 康子
 東京にて感じる故郷との違い 山本誠一朗
 岡山の人物 木村毅 野村 英子
 岡山の自然 秋の七草 地蔵 恵
 岡山の文化財 旧岡山市立内山下
 尋常高等小学校校舎 皆木 國義
 わが町・わが村の自慢 旧備中松
 山藩御茶屋(高梁市奥万田町)
 ふるさとの想い出 東作州地歌舞
 伎保存協議会(勝田郡奈義町)
 文化財団ニュース／催しのご案内
 会員だより 我が町シリーズ
 スケッチ紀行(1) 寺西 正文
 ◆中庄の歴史 中庄の歴史を語り継ぐ会
 〒710-0016岡山県倉敷市中庄1268
 ◇8 2013.9 A5 96p 1000円

表紙写真解説
 戸板京子「八つ手の花と静物」
 巻頭言
 教養とは歴史の教訓である 菅波 茂
 随 想
 早朝のドライブ 野崎加代子
 中学生って… 谷田 直子
 犬島アートプロジェクト見学 幡上 俊夫
 楽しみな「ツツジ山プロジェク
 ト」 平松満里恵
 池田陽浩氏を偲んで 戸板啓四郎
 ふるさを語る 藤原 素子
 中庄を探ねて 中庄駅の誕生悲話
 難波 四郎
 私の鉄道への想い 岸本 得宏
 シリーズ 中庄中学校11年の軌跡
 1947.4～1958.3
 グッドオールド中庄中学校 佐藤三木雄
 中庄中学校の思い出 青山富美子
 2012・夏ニュースハイライト 中
 庄学区12時間マラソンソフトボ
 ール大会 安阪 眞一
 特別寄稿 明治中期における花筵
 業界の様相について 吉原 睦
 帯江から翔る犬島で学ぶ
 写真スケッチ録 2008～2013 那須 啓文
 手記「犬島と私」 平成25年度・
 春期 第34回ふるさと歴史講座
 犬島を訪ねて…帯江銅山の精錬
 所跡 犬島精錬所美術館見学会
 4月13日(土) 宝伝港～犬島 松村 建治
 犬養木堂と年忌供養 近藤 萌美
 養生は食物から(2) 大根と人參
 「ツツジ山再生プロジェクト」の
 昇華を願って… 西田 克己
 自動車学校に子どもたちがやって
 きた! 編集部
 災害は忘れた頃にやって来る 編集部

歴史散歩 産業遺産への想い
別子銅山 漆原 恒夫
中庄むかし風土記 國富氏と鳥羽 國富 良昭

2012トピックス 「百鍊自得」を
合言葉に一倉敷高校剣道部
ウォーク&トーク ふるさと紀行
(6) 和田の巻 「北向き地藏さん」のこと 須々木宏起
戦後の断章 ふるさと人物群像
(6) 一枚の写真が語る戦後の
中庄 公民館活動と青年団 戸板啓四郎
愉快的田邊流人生！(3)
薔薇投げ 田邊 泉
くらしき中庄らーめんはこだわり
のスープで勝負！

◆芸 備 芸備友の会
〒731-0135広島市安佐南区長束1-4-12-10
小都隆方 1973年創刊

◇43 2013.9 B5 60p 1000円
《特集 考古学から探る地域相(3)》
尾津谷西8・9・10号古墳の測量調
査報告 脇坂光彦／安間拓巳
横大道1・2号古墳の測量調査報告 脇坂 光彦

安芸高田市吉田町明官地古墳群の
調査研究(2)―第2・3・4号古墳
の墳丘と出土遺物の調査 安間 拓巳
遺跡・文化財の動向 安芸高田市
稲山遺跡群で四隅突出型墳墓を
確認／安芸高田市甲立古墳の4
年目の確認調査 芸備友の会

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingo-history.net

◇173 2013.8 A4 26p

「備中清和寺文書」 下野守寄進状 田口 義之
古墳講座 海に祈る(祭祀考古学) 網本 善光

研究レポ
最明寺跡の遺跡名称について 篠原 芳秀
調査報告 中世石造物の調査報告
／行事案内 中世石造物調査の
お知らせ／ぶら探訪(その14)
深津島山を歩く
備後史談
松永地域の出身力士について 岡田宏一郎
福山市の黎明は佐波浄水場にあ
り 田口 由実
郷土探訪 引野の梶島山に四ツ堂
があった 三好 勝芳
9月井原バス例会に寄せて
藤井能登入道咄玄発信す 根岸 尚勝
井原の千手観音院 佐藤 光範
郷土探訪 連載「川筋を訪ねて」
(4) 手城川流域を歩く 種本 実
例会報告
安芸国衆天野氏の山城を体感 沖 正明
行事案内 「備陽史研究 山城志
第21集」発行記念講演会／備陽
史探訪の会歴史講演会「備後の
中世山城」講師：田口義之
例会報告
志和町バス例会の感想 大場 和弘
トキメキ☆豊松 探訪マニア
城郭部会便り 鎌倉時代の庶民と
荘園公領制 城郭研究部会
歴史研便り 近世福山を読む
第四・五回要旨 高木 康彦
読書余録 中世史を考え直す 木下 和司
「備陽史研究 山城志 第22集」
の原稿 大募集！
山城レポ 越前豊原城跡探訪

なぜ怪異が生じるのか？ 末森 清司
行事案内 鉄道の日記念さっぽろの
旅 新選組に会いに行く―東寺
から神泉苑まで歩く
各部会学習会・講座 古墳部会学
習会、城郭部会学習会、歴史民
俗研究部会学習会、ぶら探訪予
定

◆広島土史研究会会報
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内 TEL0823-71-0706
1998年創刊

◇116 2013.9 A4 24p
表紙 大正五年広島県賀茂郡私立
教育会発行「賀茂郡志」発刊メ
ンバー 藤田正夫氏提供 上河内良平
藤田家文書 第Q章を読み終えて
広水力発電所設立秘話と伝承不
備の謎を解く 上河内良平
曾祖父「藤田譲夫」の名前の読み
について 藤田 正夫
県史協参加案内／第35回県史協広
島大学見学会要項(次第)
写真展の開催報告 藤田譲夫と広
島水力電気株式会社 吉田 顕治
資料ご案内／古文書部会の報告／
例会の主な感想／新入会員紹介
／10月・11月、例会休会のお知
らせ／例会報告
第109回例会のお知らせ 「藤田家
文書 第Q章を読み終えて 広
水力発電所設立秘話と伝承不備
の謎を解く」上河内良平

◆広島民俗 広島民俗学会
〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24
岡崎環方 TEL082-818-3497 1974年創刊

◇80 2013.8 A5 80p 500円
巻頭特集 座談会「広島民俗学会
設立四十周年を迎えて」
原田三代治／藤井昭／神田
三亀男／栗原秀雄／三村泰
臣／岡崎環／正本真理子
平成24年度現地研究会参加記
備後一宮 吉備津神社 栗原 秀雄
備後一宮 吉備津神社を訪ねて 佐々木 薫
昭和期までの村の火事 神田三亀男
ヤタガラスについての一考察 尾多賀史章
「岩国行波の神舞」見聞記 小沢 康甫
国指定重要無形文化財「岩国行波
の神舞」を拝見する―7年に一
度の全12座の舞 下畠 信二
新刊紹介 『城下町ひろしまのお
菓子』(岡崎環)、『広島県下の
特殊神事Ⅰ』(尾多賀晴吾)
書評 『里山 いのちの譜 中国山
地の暮らしを訪ねて』 文 正本
真理子・写真 金山一宏 A5判
・236頁・みずのわ出版発行 佐田尾信作

◆みよし地方史 三次地方史研究会
〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
1987年創刊

◇91 2013.8 A4 8p
安政地震と広島・備北 米丸 嘉一
甲奴町小童須佐神社の石造狛犬寄
進について 中畑 和彦
総会記念講演『物語 古墳時代の
広島県』
三次浅野藩に関わる家譜 長治公
生誕から三次浅野家廃絶まで、
110年間の人々(1) 富士原昌宏

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
福岡幸司方 TEL0848-62-2935 年3600円
◇269 2013.8 B5 12p 100円
表紙 沼田東町本市
沼田神社の祇園祭り
今月の各地
三原は第三のふるさと 近藤 正夫
御調別宮小童城の洪川氏(1) 大本 静人
松林小路南端「くの字型排水溝」
の教え 鈴木 健次
「伝草井藤市の墓」に関する一考
察(謎とき)(2) 和氣 泰臣
◇270 2013.9 B5 12p 100円
表紙 賑った三原やっさ祭り ミ
ハラッキーの前でやっさ踊りを
熱演
今月の各地
子ども会と伝統文化の継承 羽藤 文雄
秋の研修旅行ご案内
竹田城跡と生野銀山の旅 鈴木 健次
御調別宮小童城の洪川氏(2) 大本 静人
「伝草井藤市の墓」に関する一考察
(謎とき)(3) 和氣 泰臣
◇271 2013.10 B5 12p 100円
表紙 御調八幡宮と三原市の文化
財展 一般公開中の御調八幡宮
収蔵庫
今月の各地 10年目の記念日 山本 公恵
植崎氏と三原 (1) 大谷 和弘
「伝草井藤市の墓」に関する一考察
(謎とき)(完結編) 和氣 泰臣
御調別宮小童城の洪川氏(完結編)
大本 静人
◆徳島県立博物館ニュース
〒770-8070徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1990年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇92 2013.9 A4 8p
アンモナイト類
シレニテス・センティコサス 辻野 泰之
Culture Club 高知県安田町唐浜
の穴内層とその化石 中尾 賢一
平成25年度特別陳列 みんなの化
石コレクション 10月18日(金)
～12月1日(日)
情報ボックス
展示と資料保存の両立 岡本 治代
館蔵品紹介
板野郡大代村岡家文書 松永 友和
Q & A クサガメが外来種ってホ
ント！？ 佐藤 陽一
10月から12月までの博物館普及行
事 あなたも参加してみませんか？／普及行事のお申し込みに
ついて／みんなおいでよ博物館
友の会
◆小松史談 小松史談会
〒799-1101愛媛県西条市小松町新屋敷甲30
07-1 西条市立小松温芳図書館郷土資料室
TEL0898-72-5634
◇139 2013.1 A5 139p
年頭の御挨拶 重松 二郎
道前平野における弥生時代のムラ
とクニ 松木 武彦
徳島市内と阿波探訪 志賀 孝弘
明治の写真と謎の建物 伊藤 敏昭
小松の年中行事 黒河 一誠
和田重次郎と日野強 加藤 康明
篤山先生座像と青野和吉 玉井 公一
静佳連吟帳 伊藤 隆志
近藤篤山遺稿(2) 温芳漢文学習会
蛇になった娘の話 石丸 敏信

播州加古川筋の百姓一揆と近藤亀
蔵 松木 守一
一柳宣高が訪ねた美濃国の知る辺
竹内 真人
コラム 仏心寺新住職着任／歴史
資料を後世に／小団兵衛の墓標
建立 編集者
ふるさと探訪(西条市内方面) 編集者
◆ふたな 愛媛考古学研究所
〒791-2101愛媛県伊予郡砥部町高尾田138
長井數秋方 TEL089-956-1496
◇16 2013.4 B5 140p
遺跡分布図から見る芸予諸島の考
古学 長井 數秋
伯方島の考古学 長井 數秋
愛媛県内の紀年銘の残る宝篋印塔
長井 數秋
◆秦史談 秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283
松本紀郎方 TEL088-875-6671 1984年創刊
◇175 2013.8 B5 50p
表紙 盤持ち石と金毘羅石灯籠
(東秦泉寺) 松下 政司
グラヴィア 岡村氏・平尾賞祝賀
会、山の神・原生林にて、ふれ
あいキャンプ
秦の昔話 東谷の巻 敷島紡績の
笠田(「こうち童話」から) 永野美智子
三谷・山の神 雑録(1) 松本 紀郎
薩長連合と土方久元(「土方伯爵」
誌より) 原田 英祐
「ローカルジャーナル 秦史談」
(『高知新聞』より)
寄稿 土方久元と小栗上野介につ
いて 彦坂 徹
声ひろば 豪華客船での出会い

武山高之(『高知新聞』より)
秦・史跡めぐり余滴(1)
一西郷頼母郎の悲劇 (松本)
平尾学術奨励賞を受賞して 土佐
史談会理事 岡村庄造(『高知新
聞』より)
お龍聞き書き紹介(1) お龍の曾
祖父はもと長州藩士(反魂香) 岩崎 義郎
続・坂本龍馬が現代に生きている
龍馬像の変遷(3) (3)昭和後期
一北海道に龍馬の大雪像が立つ
など 広谷喜十郎
楠瀬大枝の周辺(9)
山本家のことなど 和田 豊子
鎌倉幕府の九州統治(前号の続き)
笠原 保博
戦史17 中国残留孤児 赤い夕日
毛利 俊男
夏の陽ざしの中で(2) 松本 紀郎
秦史談会申し合わせ事項
秦・史跡めぐり余滴(2)
一愛宕神社の鐘 (松本)
出征兵の望郷歌 後世に 『南国土
佐を後にして』1959年 提供：
秦泉寺静興(『讀賣新聞』より)
よさこい節 土佐人の心(『讀賣
新聞』より)
岡村庄造氏拓本集から(29)
方丈の記 編集委員回し書き(31)
秦史談会(高知市)発足30年(『高
知新聞』より)
九州・沖縄
◆末盧国 松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
◇195 2013.9 B5 20p
唐津市重要文化財

木造十一面観音菩薩坐像 志佐 惲彦 唐津の郷土史で語られていない真 実の史話(2) 名護屋城で茶の 湯と能楽に興じる秀吉と義兵に 苦戦、凍死、飢餓の清正・鍋島 軍(2) 中里 紀元 福井藩士寺沢家と「継業録」 寺沢 光世 義民「佐志のお塔さま」 堀川 義英 考古学における地方史研究の成果 土製(滑車型)耳飾(1) 田島 龍太 明治時代と其後の浦川内 嶺川 隆敏 横竹田島神社 湯かぶりと横竹の歴史 熊本 典宏 検証 鶴田氏の変遷 塚本 三郎 ◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会 〒880-0951宮崎市大塚町西ノ後3376-1 土岐宗春方 ☎0958-52-5014 年2000円 ◇42 2011.4 B5 8p 石の証言 台中州教育会 45×60cm 「母と子」 「平和の塔」の史実を考える会 20周年記念 パネル写真による 「石の証言」展開く パネル写真による「石の証言」展 開催の経過 福田鉄文さんの講演の概要 宮崎 の戦争遺跡を調べて思うこと 名称問題についての誌上討論の呼 びかけ 「大東亜聖戦大碑」の副碑を設置 金沢市民の講義の中 「平和の塔」の史実を考える会 20年の歩み(2) トピックス 「宮崎の戦争遺跡」 福田鉄文 2010年12月 定価 (税込) 1890円 鉾脈社／「赤江	あの日あの頃」(同編集委員会、 江南書房)が第21回宮日出版文 化賞を受賞 ◇45 2011.9 A4 8p 石の証言 總動忠清南道聯盟 45×60cm 花崗岩 第21回ウォッチング「平和の塔」 に過去最多の150余名が参加し ました／参加者の感想 中・高生・若者を呼び込もうーウ ォッチング「平和の塔」子ども の部 土岐 宗春 非日常が日常化した時代(2) 渡部 学 「八紘一字」の塔 建設に至る一 証言 皇居大御跡検証(上)(下) 蔵六 迂人 金沢の「聖戦大碑を撤去させる会」 と情報交換・交流へ 税田啓一郎 「平和の塔」の史実を考える会 20年の歩み(5) トピックス 戦争遺跡を文化財に 8月6-7日に慶応大・日吉校舎で 「戦跡保存全国シンポジウム」/ 都城市の「平和のための戦争展」 で「石の証言」パネル写真展/ 宮崎市の戦跡めぐり／史実を考 える会 今後の予定 ◇46 2011.11 A4 8p 石の証言 南京中山陵 中支派遣 軍、南京紫金山麓 中支派遣軍 追悼 井村彰(あきら)さん 顕彰碑から警告碑へ 平和の塔(「八紘一字」の塔)のお話 土岐 宗春 映画「弁護士・布施辰治」上映ご 協力のお礼 中島多津雄 塔の案内をしました 「聖戦大碑を撤去させる会」(『ふ	えみん婦人民主新聞』2011.9.25 より)／第3回戦争と平和を考え る集い 12月8日(アジア・太平 洋戦争開始)にあたって トピックス 今年20歳になりました。 身近な歴史遺跡から平和を 考える 「平和の塔」の史実を 考える会／ブックレット「石の 証言」の再発刊を決定！／「史 実を考える会」今後の予定 ◇47 2012.1 A4 8p 石の証言 多田部隊 萬里長城 新年(2012)を迎えて 野崎 眞公 名称問題についてご意見をお寄せ ください 「諸国民戦争記念碑」と「八紘一字」 の塔 税田啓一郎 大宮小4年「ふるさと歴史探訪」 学習指導 2011年11月16日(水) 学校職員 図師啓悟先生／地域 講師 杉尾哲哉 もうひとつの紀元2600年記念碑 (税田) 「中国新聞」に掲載したされた「世 界の平和博物館」から ヴァン ゼー会議記念館(ドイツ・ベル リン)／デイトン国際平和博物 館(米・オハイオ州) トピックス 「リベルテ」が発刊 ／「史実を考える会」の活動/ 例会と学習会／編集後記 ◇48 2012.3 A4 8p 石の証言 南米秘露日本人会(ベ ルー・リマ市) 45×60、「厳室」 にある南アメリカ大陸の図 「つくる会」系教科書はこんなに 問題 ある高級将校による証言の真実 ー南京大虐殺事件と第六師団 税田啓一郎	「八紘一字」の塔と宮崎の明治人 岩切章太郎／日高重孝 編集部 「さよなら原爆！宮崎いのちの広 場」 3.11(日) 沖縄「平和の礎(いしじ)」 税田啓一郎 トピックス 韓国で「八紘一字」 石碑の発見／例会と学習会／編 集後記／さよなら原爆！宮崎い のちの広場 ◇49 2012.5 A4 8p 石の証言 都城市加教会 60×45、 都城市基督教会 45×30 5月27日(日)は「史実を考える会」 の総会です。ぜひ出席しましょ う なぜ「平和の塔」という呼称を使 ってきたか 税田啓一郎 ある高級将校による証言の真実(2) 南京大虐殺事件と第六師団 税田啓一郎 或る本を読んで思ったこと 原 秀樹 トピックス 韓国で「八紘一字」 石碑の発見・続報／昭和天皇の 「人間宣言」書き替え事件 半 沢英一氏(金沢大学准教授)の講 演から／例会と学習会／原稿を 募集しています！ ◇50 2012.7 A4 8p 石の証言 大日本国勢記 南支那 派遣軍(大理石)、「紀元二千六 百年」と「国勢記」 新名称決まる！ 「八紘一字」の塔を考える会 新会長に就任して 税田啓一郎 「石の証言」「古事記ブーム」と 「八紘一字」 南 邦和 ビックリ！ 梅原猛氏講演「古事 記(日向神話)に書かれているこ とはほぼ事実といってよい」 土岐 宗春
---	--	---	--

第22回ウォッチング「八紘一字」の塔で歴史と平和を学習しませんか／例会と学習会のお知らせ／「大宮九条の会」6周年のつどい盛大に開く！	
寝耳に水の話？	野崎 眞公
学習会の報告／お知らせ	アーサー・ピナードさん講演会「ニッポンの秋と核の冬」
◆南九州の石塔 南九州石塔研究会	
〒891-0113鹿児島市東谷山5-21-3	
築地成郎方 1980年創刊	
◇18 2013.8 B5 103p	
表紙写真説明	
里岳の石廟と宝篋印塔	
はじめに	松田 誠
郷土に学ぶ 吉松中央公民館 学びの碑—学ぶとは見えなかったものが見えてくることである	米満 重満
梵字庚申塔について (えびの・吉松・栗野)	松田 誠
新納家墓碑に見る穿孔の謎	西 定義
新納家定紋決定について	前原 憲義
肝付氏系石塔の相輪文様について	隈元 信一
富隈城に在るという「伊集院小伝次の墓」の真相を探る	藤浪三千尋
大隅正八幡本地三か寺正高寺の四十九院石造遺物について	藤浪三千尋
伊佐市の田之神さあ二体	東 哲郎
霧島市溝辺町三縄の水天石像	山崎 國博
木場武則さんの思い出	福元 忠良
斎藤彦松先生と河野治雄先生の思い出	福元 忠良
四十周年記念に向けて思うこと	吉野 学
平成22年度秋の現地研修会報告 (吉松地区)	松田 誠

平成23年度春の現地研修会報告 (薩摩川内市)	中野町正利
平成23年度秋の現地研修会報告 (鹿児島市)	中野町正利
平成24年度春の現地研修会報告 (肝付地区)	隈元信一／福谷平
平成24年度秋の現地研修会報告 (鹿児島市郡山)	中野町 正利
◆宮古郷土史研究会会報	
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8	
下地和宏気付 TEL0980-72-9963	
1977年創刊	
◇198 2013.9 B5 8p	
9月定例会レジュメ	
報告「多良間島の八月踊り」	下地 和宏
10月定例会レジュメ 多良間島の「抱護」から見える資源管理と利用形態	三輪 大介
7月定例会のまとめ 「むいか越」(与那覇勢頭豊見親のニーリ)について報告	下地 利幸
宮古史解明に重要な友利元島遺跡—8月定例会のまとめ	久貝 弥嗣
第25回企画展「美ぎ布展—苧麻糸が繋ぐ伝統の技—」の紹介	砂川 史香
ミヌズマ遺跡第二次調査始まる	久貝 弥嗣
「乾隆三十六年大波」碑の修復について	新城 宗史
新たな歴史文化ロード「綾道」について	新城 宗史
宮古島市立平良図書館北分館主催 第3回「郷土史講座」開講される	
沖縄平和ネットワーク(首都圏・関西) 歩く・みる・考える沖縄の旅	仲宗根將二

寄贈図書紹介
◆注釈 遠野物語拾遺 下
遠野物語研究所 (〒028-0513 岩手県遠野市中央通り2-11 TEL0198-62-0809) 2013年1月 A5 132頁
遠野物語研究所が長年にわたり進めてきた「遠野物語拾遺」の注釈研究の集大成。昭和10年(1935)の『遠野物語 増補版』に収録された299話のうち、本書には上巻(2011年1月刊)以降の102話から208話を注釈・解説を付した中巻(2012年1月)の内容も含めて収録・刊行する。遠野人の自己確認の営み(高柳俊郎)／山男／神隠し／山女／山の霊異／タイマグラ／霊地／尊像の由来／館跡の宝／家の盛衰／鮭を食わない家／宝器／前兆／夢見／魂の行方／まぼろし／山中の怪／幽霊／猫／淵／蛇／蜘蛛／狸／狐／熊／狼／猪／犬／鳥／狩人／力自慢の男達／人生模様／維新の頃／飛行機／お産の習俗／子育て／俚謡／家族／病と死／瓢箪／年中行事／後記(折口信夫)／聞き取り・調査者一覧／NPO法人遠野物語研究所運営委員紹介／編集後記／資料(中巻より) 序 現地で読む「遠野物語拾遺」に(高柳俊郎)、編集後記(大橋進)
◆図解 常陸国風土記 高萩編
草間吉夫編 秋本吉徳監修 茨城新聞社 (〒313-8686 茨城県水戸市北見町2-15 TEL029-221-3633) 2013年2月 文庫判 68頁 400円
「風土記撰進の詔」発布1300年を記念して「常陸国風土記」の高萩に関する箇所を現代語訳、解説する。編著のことは(草間吉夫)／監修のことは(秋本吉徳)／まえがき／風土記覚え書き／『常陸国風土記』総記(現代語訳)／『常陸国風土記』多珂郡(現代語訳)／発刊にあたって(佐川春久)／参考図書／高萩市の紹介
◆「戸沢政盛公」座像・肖像画制作 講演録

高萩市教育委員会・松岡藩藩校「就将館」編 高萩市経営戦略都市長室 (〒318-8511 茨城県高萩市本町1-100-1 TEL0293-23-7320) 2013年2月 A5 26頁 非売品
高萩の歴代領主の一人、戸沢政盛の座像及び肖像画を制作した松隈健太郎氏・雅江氏の講演録(平成24年6月23日)。戸沢政盛公座像の制作(松隈健太郎)／戸沢政盛公肖像画の制作(松隈雅江)
◆マンガで見る近世大名
初代松岡城主 戸沢政盛公物語
佐川春久監修 原康隆画 高萩市・高萩市教育委員会・松岡藩藩校「就将館」編 高萩市市長室(同上) 2013年2月 B6 51頁 300円
高萩の歴代領主の一人であり、初代松岡城主戸沢政盛の業績や生涯を描く。戸沢政盛公物語の発刊にあたって(草間吉夫)／戸沢政盛公物語の発刊に寄せて(戸沢奎三郎)／松岡城と武家屋敷の一部／マンガ 戸沢政盛公物語／戸沢政盛子公の略歴／戸沢政盛公の生涯／日光東照宮石灯籠の写真と位置／戸沢氏の系図
◆新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪ねる
我孫子市史研究センター編 (http://www.geocities.jp/abikosisiken) つくばね舎 (〒277-0863 千葉県柏市豊四季379-7 TEL04-7144-3489) 2013年1月 A5 255頁 1800円
「市民の手で創ろう我孫子の歴史」を標語として、1975年1月以来活動が続けている我孫子市史研究センターの合同部会によりまとめられた新四国相馬霊場八十八ヶ所のガイドブック。観光光音禅師によって宝暦・安永年間に成立した下総国相馬郡の八十八ヶ所の札所および掛所のすべてを探訪・調査し、四国のどの霊場(札所)を擬したのか、御詠歌、道順、来歴、現状、四国の本霊場などを見開きで紹介。また参詣順路図もあわせて収録する。
◆図説 印旛の歴史

大塚初重・三浦茂一監修 郷土出版社（〒399-0035 長野県松本市村井町北1-4-6 TEL0263-86-8601）2013年1月 A4 227頁 9500円

原始・古代から近現代に至る印旛の歴史を100項目のトピックでたどりながら、わかりやすく紹介する。カラー口絵／刊行にあたって（大塚初重・三浦茂一）／凡例

〔原始〕 房総最古の石斧製作跡／独特な尖頭器を作り出した人びと／成田国際空港内の縄文遺跡と初期土偶／分水嶺で見つかった縄文時代のムラ／マウンドのある縄文のムラ／関東最後の貝塚群／再葬墓／環濠集落と方形周溝墓／土器の十字路 遺物にみる地域間交流／変容するムラ／コラム 人頭形土製品

〔古代〕 小古墳を従えた前方後円墳／印西の前期集落と北陸系土器／玉作工人のムラ／埴輪—古墳に立てられたモニュメント／最後の前方後円墳／律令の時代と役所の誕生／神仏に祈る 水辺の祭祀と仏教の浸透／地域の拠点集落の様相／須恵器の生産／古代の製鉄工場／コラム 文字の時代

〔中世〕 戦国期千葉氏の本城／古寺に見る印西の武士の存在／太田道灌と上杉謙信が攻めた白井城／足利尊氏と結びついた白井氏／戦国武将の文化交流／香取の海と印旛の浦／北条氏に忠節を励む千葉氏家臣幡谷氏／鹿島川流域の領主／完全発掘をうけた中世の城／金沢北条氏の下総進出／印旛地方の名利／八街根古谷城と法宣寺／下総道と牧／千葉氏と遠山方御厨／印東庄と千葉氏／千葉氏の内紛／馬牧と農民の屋敷地／発掘による中世城館跡の推移／コラム 東北へ進出した白井氏と弥富氏

〔近世〕 成田不動信仰の霊場／芝居になった義民／埴生郡にあった御三卿の領地／漁猟権をめぐる争論／江戸歌舞伎の名優／田園歌人／草莽の国学者／総州佐倉城／アメリカ駐日

総領事ハリスと交渉した老中／武家のくらし／佐倉順天堂の医学教育と治療／佐倉の城下町／琵琶湖のような印旛沼の景色／佐倉城に押し寄せた百姓たち／旅人が見聞した成田街道／佐倉藩校の教育／領民に慕われた代官／利根川の河岸のにぎわい／獲物を求めて野原を駆ける将軍／村絵図が語る近世の村／近世はじめの検地／万九郎地蔵となった子育地蔵／利根川の水を江戸湾へ／原野を開く／人びとを悩ました自然災害／野馬がいる風景／小野派一刀流の開祖／重い年貢に苦しむ百姓／幕末佐倉藩の絵師たち／コラム 水戸黄門が泊まった宿場

〔近代〕 維新後の旧佐倉藩士たち／開墾碑が語るもの／佐倉聯隊の設置／四街道に設置された軍事施設／広がる民権・結社／現代につながる私学教育の脈脈／藩校成徳書院から県立佐倉中学校へ／郡立になった中学校／水運の盛衰／鉄道網の広がり／発展するお不動様の門前町／沼の恵みと人びと／洪水との闘い／衛生知識の普及活動／根づいた外来作物／二十世紀から栽培／北総・印旛に集う文人／県内最初の社会主義結社／小作人の苦悩と挫折／印旛沼畔の農民歌人／コラム 全国二位の出荷量

〔現代〕 軍用地を農地へ／戦後の保健所業務／親しんだ町や村の名前が消える／地域に伝染病予防対策／成田空港の光と影／戦後の鉄道の発展／甲子園の土を踏んだ球児たち／「住み、学び、働き、憩う」まちづくり／コラム 門前町から国際都市へ
『図説 印旛の歴史』本書掲載の主な出来事／主な参考文献

◆大江戸裏ばなし

とつかひろし（戸塚弘司）著 2013年1月 A5 123頁 700円

いまでは遠い時代となってしまった江戸時代の様々な諸相を切り取った「はなし」10話を、

わかりやすい題材とともに紹介する。はしがき／銭湯／俱利伽羅紋紋／座頭／三下り半／浅草弾左衛門／首斬り朝右衛門／街道と内藤新宿／八丁堀／吉原遊郭／投げ込み寺

◆新八王子市史 資料編3 近世1

八王子市市史編集委員会編 八王子市（〒193-0943 東京都八王子市寺田町1455-3 八王子市総合政策部市史編さん室 TEL042-666-1511）2013年3月 A5 990頁

『新八王子市史』全14冊（資料編6冊・本編8冊）の第1回配本。北条氏の八王子城が落城した天正18年（1590）から明治新政府の支配が及ぶまでの八王子市域に関わる史料を収録する。口絵／刊行にあたって（石森孝志）／編集にあたって（藤田登）／凡例／総目次／細目次
近世八王子の町と市／甲州道中と八王子／八王子を支配した領主／八王子の村々
口絵・扉絵写真出典一覧／資料提供者及び協力者・協力機関一覧／市史編集専門部会近世部会／市史編さん関係者一覧

◆別冊Muse 2012 企業と史料—資料の収集、保管そして利活用の現状と課題

帝国データバンク史料館編・刊（〒160-0003 東京都新宿区本塩町22-8 TEL03-5919-9600）2012年10月 B5 109頁

2007年4月に開設された帝国データバンク史料館のコミュニケーション誌『Muse』別冊。巻頭インタビュー 猪瀬直樹さん 企業にとって、社会にとって“記録”“資料”の価値とは何か／協働プロジェクト 新“百歳”企業13,000社実態調査／特別論稿 良い社史・悪い社史（宮本又郎）、企業アーカイブへの期待—歴史的資料で組織を支える（佐藤政則）、資料保存の考え方と取り組み方（安江明夫）／現場報告 『花王120年』、編纂から完成まで（上田和夫）、東芝科学館、50年の歴史とアーカイブ（河本信雄）／Talk Session 白熱メッセージ アーカイブズを社会の力…とするため

に（松崎裕子・森本祥子・鎮目良文・中臺綾子）／Muse Special Guest 由井常彦さん 経営史研究の開拓者、その素顔に迫る／逸品解題

◆新横須賀市史 別編 軍事

横須賀市編・刊（〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11 横須賀市総務部総務課 市史編さん担当 TEL046-822-8150）2012年12月 B5 915頁 4000円

2004年から刊行が開始された新市史（全15巻）の第12回配本。旧軍港市であった横須賀市に関連する幕末・明治から終戦に至るまでの約280項目の軍事的な内容を、多数の写真・資料を取り上げてまとめる。序（山中裕）／『新横須賀市史』別編軍事について（上山和雄）／目次／凡例／写真集Ⅰ 横須賀の戦前・戦中／製鉄所から鎮守府造船所へ／横須賀鎮守府の設置／横須賀海軍工廠／写真集Ⅱ 横須賀の今昔（1）／海軍航空と横須賀／横須賀の陸軍と東京湾要塞／戦時三浦半島の防衛／写真集Ⅲ 横須賀の今昔（2）／横須賀の占領軍／防衛力の整備と自衛隊／アメリカ軍第七艦隊と横須賀／写真集Ⅳ 横須賀の戦後／付表／付図 横須賀市内にあった終戦時の主な旧軍施設

参考文献・各章扉写真出典／あとがき／執筆者一覧・協力機関及び協力者／市史編さん関係者名簿／『新横須賀市史』発刊計画

◆新横須賀市史 別編 民俗

横須賀市編・刊（〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11 横須賀市総務部総務課 市史編さん担当 TEL046-822-8150）2013年6月 B5 871+55頁 4000円

2004年から刊行が開始された新市史（全15巻）の第13回配本。生業や地域の風習などについての幅広い調査成果をまとめる。序（山中裕）／目次／民俗編の目指すもの／生きる／暮らす／集う・運ぶ・商う／祝う／語る・遊ぶ・祈る／横須賀、ヨコスカ、YOKOSUKA

／あとがき／執筆分担／お世話になった方々／横須賀市史編さん関係者名簿／『新横須賀市史』発刊計画／掲載図版一覧／引用・参考文献一覧／索引

◆郷土研究岐阜 創立40周年記念論集

岐阜県郷土資料研究協議会編・刊（〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-2-1 TEL058-275-5111）2013年6月 B5 186頁 1500円

1973年9月に設立総会を開いてから40周年を迎えた岐阜県郷土資料研究協議会の記念論集第2冊。発刊に際して（丸山幸太郎）／土岐康行の乱と美濃国の変動（佐伯浩）／木曾川中流域での河野御坊の変遷について（横山住雄）／近代以前木曾川は誰のものだったか—聖徳寺の存在意義と門徒達（鬼頭勝之）／飛騨松倉城の石垣について（佐伯哲也）／金森長近飛騨攻略前後の動向—新史料を中心に（竹田雅文）／白川郷萩町城主山下氏勝とその功績について（長瀬公昭）／円空・若き求道の日々—仏道、修験道、作仏にかかる修学と修行（若原高義）／元伐休山以前における飛越間の商品流通—元文元年、飛州牛方・越中馬方争論をめぐる（福井重治）／三業惑乱とその後の異安心吟味の一例（原田政彦）／宝暦治水「逆川締切工事」をめぐる流域住人の歴史意識（水谷英志）／幕末動乱期の大垣藩（清水進）／『陶都多治見図絵』の黄金沢温泉についての覚書（小木曾正明）／西濃地方の祭礼芸能の特色（丸山幸太郎）／織部茶会と関ヶ原（国分義司）／美濃国池田郡小佐井（尾西）村『千疋城』跡（大久保甚一）／岐阜賀嶋家文書にみる賀島氏系図（北洞勝臣）／輪中の原理（白木晃敏）／小瀬の鵜飼について（土屋一）／六八連隊の「軍人宿舎」の断面（上野日出利）／岐阜駅前ハルビン街中核メンバーへのインタビュー（根岸秀行）／神代文字ホツマと美濃（堀信雄）／「猫のいる」涅槃図の事例（永井豪）／岐阜賀嶋家文書—賀嶋清左衛門家当主手跡集（北洞敦子）／興

文小創立百七十周年記念誌の発刊に携わって（高木秀之）

◆愛知県史 資料編24 近代1 政治・行政1 愛知県史編さん委員会編 愛知県（〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-4-13 愛知県庁大津橋分室 総務部法務文書課県史編さん室 TEL052-972-9171）2013年3月 A5 979頁 5000円＋送料

平成6年度に着手した新『愛知県史』編さん事業の第15回配本。明治4年（1871）の廃藩置県から明治21年（1888）の市制・町村制の公布前までの愛知県の政治・行政に関する資料を収録する。

口絵／序／藩から県へ／愛知県の成立／地方制度の形成／成立期の愛知県政／初期県会と三新法体制／「文明開化」と社会秩序／名古屋鎮台と初期軍事行政／自由民権運動の展開／移民政策と県民—北海道・樺太移住と北米移民／解説／頻出語句・用語一覧／あとがき〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁

『愛知県史 資料編24 近代1 政治・行政1』を読んで（高久嶺之介）／豪農「林金兵衛」研究の経緯（河地清）／県史編さん室からのお知らせ

◆愛知県史 資料編31 近代8

流通・金融・交通

愛知県史編さん委員会編 愛知県（〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-4-13 愛知県庁大津橋分室 総務部法務文書課県史編さん室 TEL052-972-9171）2013年3月 A5 988頁 5000円＋送料

平成6年度に着手した新『愛知県史』編さん事業の第15回配本。廃藩置県前後から昭和20年（1945）8月15日までの愛知県における流通・金融・交通・通信に関する資料を収録。

口絵／序／流通（愛知県の流通概況、流通機構の近代化と商品流通、戦時体制下の流通再編）／金融（金融市場の発展と動揺、各種金

融機関の形成と再編）／交通（愛知県の交通概況、陸上交通の発達と輸送、水上交通の発達と輸送、通信）／解説／あとがき〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁

近代における愛知県経済の歴史的位相（石井寛治）／郡部の資産家からみた近代の愛知県経済（中西聡）／県史編さん室からのお知らせ

◆愛知県史 別編 文化財3 彫刻

愛知県史編さん委員会編 愛知県（〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-4-13 愛知県庁大津橋分室 総務部法務文書課県史編さん室 TEL052-972-9171）2013年3月 A4 752頁 5000円＋送料

平成6年度に着手した新『愛知県史』編さん事業の第15回配本。仏像彫刻を中心に、江戸時代までの彫像・仮面・獅子頭を収録する。口絵／序／総論／各論（地域と仏像、彫像の様々な姿、宗派と造像、円空・木喰と仮面）／作品解説（名古屋・尾張、知多、西三河、東三河、円空仏、仮面と獅子頭）／コラム（錐点とその用法、円空の仏像修理、荒彫像と鈍彫像、秘仏拝観記、木彫像にみる絵画的要素、割首の効用、像に直接記された銘文）／所蔵者索引／愛知県内指定文化財一覧（彫刻）／用語解説／仏像各部の名称／あとがき〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁

◆新修名古屋市史 資料編 考古2

新修名古屋市史編集委員会編 名古屋市（〒461-0011 名古屋市中区東区白壁1-3 名古屋市政資料館 TEL052-953-0051）2013年3月 B5 1020頁 4500円

『新修名古屋市史』本文編全10巻完結（2001年10月）をうけて2006年3月から刊行が開始された資料編（全11巻）第8回配本として、平成19年度「考古1」につづき、飛鳥時代から江戸

時代までの主要な遺跡と考古資料を収録する。総論（本書作成の基本、名古屋の地形と古代から近世までの遺跡の分布、古代の名古屋、中世の名古屋、近世の名古屋）／主要遺跡解説（170か所）／集成・特論（出土瓦からみた尾張元興寺、古代尾張における施釉陶器生産と歴史的背景、記録に残された中世城館跡、戦国那古野城の復元、桶狭間の戦いに関連する遺跡・伝承地・記念碑、名古屋城の丁場割と石垣の刻印、尾張藩主徳川家墓所、尾張藩江戸屋敷出土の考古資料）／補遺（仁所遺跡の弥生時代土製品、平手町遺跡の船形木棺、中社古墳・南社古墳の埴輪、西大久手古墳の形象埴輪）／名古屋の遺跡調査史（遺物・遺跡に対する関心と記録、「史蹟名勝天然記念物保存法」の制定、「文化財保護法」制定後、見晴台遺跡の調査と考古資料館の開館、高度経済成長期とその後の開発に伴う遺跡調査）／遺跡一覧表、遺跡分布図、用語解説、参考文献一覧／あとがき

◆図説 丹波八木の歴史4 近代・現代編

八木町史編集委員会編 南丹市（〒622-0000 京都府南丹市小椋町47 TEL0771-68-0001）2013年3月 A4 151＋10頁

平成18年（2006）に京都府八木町・園部町・日吉町・美山町の合併による南丹市発足後も継続事業として平成20年（2008）から進められてきた八木町史編さん事業。本書は、市民にとってわかりやすく利用しやすい町史、地域史資料の永続的な保存と活用につながる町史を、という編さん方針のもと、八木町域の近代・現代史をまとめる。

明治維新と八木／町村制の施行と近代化／第一次世界大戦と八木の発展／十五年戦争下の八木／八木町の誕生と戦後社会／新しいまちづくりの展開と南丹市合併／巻末付録

◆「親聞記」の世界（1）—播磨国からみる江戸時代 平成24年度神戸大学大学院人文学研

究科地域連携センター「神戸大学近世地域史研究会」活動報告書

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編・刊（〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 <http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/>）

2012年3月 A4 74頁

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターが進めている自治体や市民と連携して地域の歴史遺産を地域づくりに活かす活動の一環として、『播磨新宮町史』の編纂を契機に立ち上げられた「神戸大学近世地域史研究会」の活動報告書。龍野城下町・下町今宿の林田屋平兵衛により編纂された西播地域の風聞記『観聞記』（安永7年（1778）～享和元年（1801））について、表紙から安永8年までの記事を翻刻する。はじめに（大国正美）／研究会紹介とともに創り上げる「学び」の場として―神戸大学近世史研究会の紹介（河野未央）／凡例／関連地図／翻刻／解題『観聞記』について（河野未央）／論考 近世摂津・播磨国に於ける失火人の対応及びその仕置（山田修士）、新在家村大江嶋村境界争いについて（砂子了一）／コラム 播磨国総社と三ツ山大祭（東美美子・宮地富美子）、秤座と秤改（土屋寿美恵）／編集裏話（山本勝三）

◆飾磨郡（その1）

妙見山麓遺跡調査会紀要7

神崎勝著 NPO法人 妙見山麓遺跡調査会（〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区の場294 Tel0795-35-0555）B5 28頁

<http://www.eonet.ne.jp/~myouken-iseki/>

2006年8月から偶数月に開催されていた「播磨風土記」講座につづき開講されている風土記講座の記録集。講座『播磨風土記』第4回（2013.3.23 於柳田国男記念館）

飾磨郡一語釈・注釈／付論1 飾磨郡伊和里「十四丘」の比定／付論2 みかげについて／付図

◆意宇郡（その3）

神崎勝著 NPO法人 妙見山麓遺跡調査会（同上）B5 26頁

講座『出雲風土記』第4回（2013.4.27 於的場村公民館）

口語釈・注釈 山国・飯梨・舎人・大草・山代・拝志・宍道郷／余戸里／野城・黒田・宍道駅／出雲・賀茂・忌部神戸／教呉寺・新造院三所／付図

◆翻刻・影印 みちの記

新居正甫編・刊（〒569-1021 大阪府高槻市弥生が丘町30-10）2012年3月 B5 53頁 非売品

自身の二度目の四国八十八カ所巡拝に備えて進める宥辯真念「四国邊路道指南」など、遍路道に関する史料の研究成果をまとめた和綴じ装の冊子シリーズ。本書の史料は、享保13年（1728）に寧野居士（七條壽庵）が―一番霊山寺から十番切幡寺まで、一泊二日の10カ所参りをした際の記録で、とくに徳島佐古九丁目から一番霊山寺までの道順を詳しく記している。翻刻・影印「みちの記」序／翻刻「みちの記」／影印「みちの記」 寧野居士（七條壽庵）（徳島県立文書館蔵 竹治家文書より複写）

◆改訂 忘れられた「邊路道」

新居正甫編・刊（〒569-1021 大阪府高槻市弥生が丘町30-10）2013年11月（2012年4月初版）B5 20頁 非売品

真念「四国邊路道指南」と細田周英「四国偏禮繪圖」により、徳島から一番霊山寺までの辺路道を考える。四国邊路道初めての道／徳島から一番霊山寺への道／加太浦から阿波むやへの渡海／「四国遍礼図」の遍路道と川／別宮川と吉野川／「偏礼絵図」と同時期の阿波国全図／すみせ川と隅瀬の渡し／大麻街道

◆改訂 「四國偏禮圖」について

「大坂本屋仲間記録」にみる書誌学的考察
新居正甫編・刊（〒569-1021 大阪府高槻市

弥生が丘町30-10）2013年10月（2013年9月初版）B5 24頁 非売品

細田周英「四国偏禮繪圖」の二種類（和歌山県立図書館・四国大学図書館凌雲文庫）の「宝暦十三ひつし年春」版原本による考察。ふたつの「四国偏禮繪圖 全」／「四國偏禮圖」の開板御願書／四國編路圖（四國偏路之圖）／四國偏禮圖「板株」の売買譲渡／板株の行方／四國偏禮細見圖 大の圖・小の圖

◆改訂 「四國編路御詠歌 道案内」について

大坂本屋仲間記録にみる出版事情
新居正甫編・刊（〒569-1021 大阪府高槻市弥生が丘町30-10）2013年12月（2013年1月初版）B5 38頁 非売品

これまであまり取り上げられなかった四国遍路についてのもう一つの案内書「四國編路御詠歌 道案内 全」文化十一年版／出版事情／大坂本屋仲間記録／文化十一年版の異本について／弘化四年改正版／明治以降の版／施し本／道案内の納経について

◆西条祭礼繪巻―近世伊予の祭礼風流
福原敏男著 西条市総合文化館（〒793-0041

愛媛県西条市神拝甲79-4 Tel0897-53-5500）
2012年10月 A4横 134頁

近世後期に描かれたと思われる二種の西条祭礼繪巻を中心に、同時代の伊予国（現愛媛県）の二つの祭礼繪巻を全巻掲載し、西条祭礼との比較研究の素材を提供する。四種の繪巻とも図版上下に繪巻解説を付して西条祭礼繪巻を「読み解く」。ごあいさつ（曾我部保次）／本書掲載の祭礼繪巻について／繪巻に描かれただんじり・御輿太鼓の部分名称 本書でとりあげた祭礼の所在地／「伊曾乃祭礼再見図」（東京国立博物館蔵）／「伊曾乃大社祭礼略図」（伊曾乃神社蔵）／「宇和津彦神社祭礼繪巻」（広末本）（福原敏男蔵）／「西条御屋敷廻方角分間絵図」部分図（国立歴史民俗博物館蔵『伊予国西条松平家文書』）／城下（陣屋）町におけるだんじり参加町概略図／「西条祭礼繪巻」において祭礼風流を出した町村の所在地／「吉田祭礼絵図」（白描本）（福原敏男蔵）／論考 近世伊予の祭礼風流―伊曾乃祭礼を中心に（福原敏男）／史料『西条花見日記』（伊予史談会文庫本翻刻）／法量一覧表／参考文献

◆後記

樽見博著『戦争俳句と俳人たち』（トランスビュー、2014.2）は、著者が長年かけて収集した戦中から戦後にかけての俳書などから、「時代の重圧が表現者たちに与えた影響」を検証した大変な労作である。第Ⅰ部はこの時期の俳壇をリードした山口誓子、日野草城、中村草田男、加藤楸邨の言動と作品を通して戦争俳句のもつ歴史的、文学的問題を論じ、第Ⅱ部では、戦前・戦中に刊行された内藤鳴雪ら30名の俳人の入門書、理論書とその他の作法講座類から戦争俳句が生まれた土壤を探る。戦争にちなんで詠まれた俳句を一括りにし、「戦争俳句」と特別視して性急に戦争責任を問うのではなく、作者の生活が反映されるものが俳句なのだから、まずは俳句としてどうか、どのように読めるか、という視点から論じる必要があり、そうした人間の姿を知ることこそ、過去に置き忘れてきた未解明の問題を解く鍵があるのではないかと著者は述べる。ずしりと胸に伝わる。本書は俳壇に一定の名を成す人物とそこに集う者たちの作品を中心にしているが、全国には、俳人とは呼べない名もなき人々の作品を掲載する句誌、同人誌は文字通り無数にあるはずである。そうしたものを各地で発掘し、著者のとった視点で見詰め直したら、新たな庶民精神史が浮び上がってくるのではなかろうか。（飯澤）

